

小樽で済生会フェア
3年ぶりに参加者集め開催

済生

SAISEI

THE NEWSLETTER of
Social Welfare Organization
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

No.1118



8

August 2022

<https://www.saiseikai.or.jp>

社会福祉法人

恩賜
財団

済生会

済生会の 不易流行論

理事長 炭谷 茂
Shigeru Sumitani



インクルージョンの真価

重 症心身障害児・者との出会いは、私の人生観を揺さぶられたものはない。その後福祉や人権の仕事に根本的な影響を与えた。

ほとんどの人は、生涯の間、重症心身障害児・者と接することはない。政治家でもそうだが、ある有力な国会議員が、「私の知っている重症心身障害者は、アパートで一人暮らしをしているので、重症心身障害児・者は、

「できる」と話していた。「障害が軽度なのか」と想像したが、話を聞いてみると、重度身体障害者と取り違えていた。

重症心身障害児・者と初めて接したのは、旧厚生省国立病院部長として平成7年夏、改築された国立西新潟中央病院の開所式に出席した時だった。時間を個別に取ってもらい、重心病棟を見学した。大学生時代からボランティア活動で障害者問題を

施設でなくとも地域で自活

分かってはいるつもりだったが、誤りだった。

病室で彼らや彼女らと会って、障害の重さに驚いた。でも目と目が合うと、優しく私を歓迎してくれた。体や言葉は不自由だが、体を懸命に動かし、意思を表す。医療・看護・介護の手厚いケアが必要である。件の議員が言うように自宅で生活することは困難だろう。

人権問題の取り組みを長年続けてきたが、重症心身障害児・者問題が欠落していたことは、大きな失態だった。それを契機に勉強を重ねた。私のよき教師は、渋沢栄一を曾祖父に持つ重症心身障害児（者）を守る会の北浦雅子会長（当時）だった。

彼女らの話を聞きながら勉強を進めると、日本の重心病棟の抜本的な改善が急務だと思った。そこで三つの重心病棟を持つ国立療養所を信頼できる社会福祉法人に移譲して、他のモデルとなる経営を開発してもらうことにした。これは関係者に変な苦勞をかけたが、振り返って後悔のない決断だった。

☆ ☆
6月下旬、済生会小樽病院の「みどりの里」を視察した。ここ

は120人の重症心身障害児・者が入所している。令和2年9月、人里離れた地域に立地していた病院を小樽病院に統合することで、小樽市内でも発展を続けるにぎやかな地域に移転した。6階建ての建物は、環境に調和した落ち着いたデザインである。玄関に入るとびっくりした私を歓迎する大きな看板が立てられていた。各階ではそれぞれの入所者が心を込めて作成した歓迎のパネルが掲示されていた。各病棟で入所者の代表が歓迎のあいさつとして緊張しながら、用意したメモを読んでくれた。「済生会の理事長になって本当によかった」と感じた瞬間である。

「みどりの里」の前はウイングベイという大規模商業施設である。買い物に訪れる市民も自然と重症心身障害児・者の存在を知るだろう。入所児・者は、街の外出を楽しみ、地域の一員として暮らしていることを実感できる。

そうならば済生会が進めるソーシャルインクルージョン（社会的包摂）の具体化が展開され、重症心身障害児・者の人権は、確実に向上していく。

昨日、 今日、 明日、三井住友銀行と。

昨日とは違う今日をはじめるために。
今日を未来へとつなげていくために。
私たちは、お一人おひとりの毎日を、
一つひとつの変化を、丁寧にみつめていきたい。
いつどんなときも、あなたにいちばん近い銀行でありたい。
これからもずっと、あなたの人生のパートナーであるために。





8月のたよりが聞こえる

アマツバメ

東

南アジアや遠くオセアニアから夏に飛来する渡り鳥。スズ

メ目のツバメに似てはいるが、ちょっと違ってアマツバメ目に分類されている。全長約20センチ、翼を広げると40センチ以上。ツバメより大きい。全身黒っぽく、日本に来る種は腰が白い。長い翼が鎌に見え、鎌ツバメの異名もある。

飛ぶことに特化した鳥で、水平飛行では鳥類最速、時速約170キロにもなる。えさの昆虫を空中で捕まえ、水も飛びながら池で補給し、雨を飲んだりもする。

睡眠や交尾も空中で行なうことができるが、逆に平地が苦手。地面に降りると翼が邪魔でなかなか飛び上がれず、山や海の崖で営巣する。

マグロも回遊しながら眠るそうだから、飛びながら寝るのは何となく分かる。大半の鳥は総排泄口を接触させて交尾するが、

でも、空中で、どうなんだ。大リーグ・大谷翔平の弾丸ホームランみたいなスピードで、できるのか？

イギリス・ケンブリッジ大学卒で、オクスフォード大学野鳥学研究所長になったデイヴィッド・ラック氏の観察によれば、こうだ（『天上の鳥 アマツバメ』丸武志訳）。

——つがいの一方がもう一方の前を飛び、前が降下すると後ろが高速で追う。前が翼を細かく振動させてからゆっくり飛ぶ。後ろが背後につき、前の鳥の真上に来て、その背に静かにとまり、しっかりとつかむ。互いの尾羽をからめながら羽を広げて滑空し、高度が下がると、素早く羽ばたいて別れていく。この間、数秒……。

交尾はいつも空中というわけではなく、やはり巣の中や近くにとまることが多い。空中交尾の時の飛ぶスピードもそんなに速くはないらしい（ああ、安心した）。

同氏が観察したのはヨーロッパアマツバメ。南米にある世界最大のイグアスの滝には、瀑布を突っ切って滝の裏側に入り、崖にしがみついた巣を作る仲間もいる。

世界中で頑張っているアマツバメ。にしても、空中で、とはねえ。（Y）

表紙のことば

灯台が思い起こさせてくれること

表紙イラスト 久保田真由美 *Mayumi Kubota*

どこまでも遠く、広い海と空。その間に飲み込まれ消えてしまおうになるとき、道標になってくれるのは白くまっすぐ立っている灯台です。「ここだよ」と言ってくれているようです。そして、暗夜の中で

届く灯台の光はどんなにか安心を与えてくれるでしょう。灯台は鬱々と先の見えないこの時代、医療にかかわる方々の光に守られていたことを思い起こさせてくれます。感謝を込めて。



済生

SAISEI

CONTENTS

AUGUST, 2022

NEWSな済生人

非アルコール性脂肪肝炎の国内第一人者
〈大阪〉吹田病院 名誉院長

岡上 武さん 06

済生会交差点

《患者にやさしい大腸検査》体への負担が少ない大腸CT検査を積極推進。地域からの検査紹介が7割／《地域へ出かける健康教室》「陸の済生丸」が地域を巡る。多職種で毎年60回の健康教室／《ケアマネジャーのしごと》思い出や歴史を映し出し、本人・家族の納得を支える／《美大とコラボ アートプロジェクト》病気を忘れホッと一息。癒やしと対話のホスピタルアート

がんばろう！ 済生会

福島総合病院

24

巻頭コラム 済生会の不易流行論

インクルージョンの真価 理事長 炭谷 茂

03

この人 磯村勇斗

28

8月のたよりが聞こえる — アマツバメ

表紙のことば 久保田真由美

05

口福につぼん 吉井省一

30

済生会フェア 〈北海道〉小樽・済生会ビレッジ

18

だれでもかんたん てづくりおもちゃ

いまいみさ

32

ソーシャルインクルージョン

20

TOPICS

34

載々、大雑報

66

題字協力：石飛博光

アートディレクション：OVO INTERNATIONAL

非アルコール性脂肪肝炎の国内第一人者

〈大阪〉吹田病院 名誉院長

岡上 武さん

酒を飲まなくても、肝硬変や肝がんの原因となる非アルコール性脂肪肝炎。この診断を人工知能(AI)が行なう画期的なシステムが稼働し始めました。患者の体への負担が小さく、診断精度が高いといえます。開発者で吹田病院名誉院長の岡上武さんに、その特長や将来展望を聞きました。

(大阪・吹田病院 済生記者 橋本 茜)

橋本 肝臓は、人体の総合化学工場。沈黙の臓器。と言われ、生命維持のため24時間365日働いています。そんな肝臓に炎症が起る原因は何ですか？

岡上 肝炎は、肝細胞が炎症によって壊れる病態で、ウイルスやアルコールなどが主な原因です。近年、B型肝炎、C型肝炎は

減少傾向にある一方、飲酒していなくても肝臓に脂肪がたまって時に炎症が起る非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD ナッフルディー)と、NAFLD中で予後が悪いタイプの非アルコール性脂肪肝炎(NASH ナッシュ)が増えています。

橋本 ナッシュは覚えやすい病名ですね。単なる脂肪肝とは違うのですか？

岡上 これまで脂肪肝は良性的の疾患と考えられてきましたが、その中に肝硬変や肝がんが発展するタイプ(NASH)もあることがわかってきました。NAFLD患者は世界に10億人いて、そのうちの1〜2割がNASHといわれています。

橋本 そんなに!?

岡上 はい。日本ではNAFLDは2000万人以上、NASHは約300万人と言われ、男女の比率に差はなく、多くが肥満・糖尿病・高血圧・高脂血症などいわゆる生活習慣病を背景にしており、生活が不規則な職業の人に多い傾向が見られます。当院では肝がん患者のうち約6割がNASH。たかが脂肪肝と軽視できないことを理解いただけたらと思います。

NEWSな済生人 Interview

橋本 NAFLD、NASHはいづれから増えてきたのでしょうか。

岡上 NASHという病名が最初に登場し

11項目を入力するだけでAIが診断「NASH」スコープを開発

たのは1980年です。米国ミネソタ州にある総合病院のメイヨークリニックで、飲酒の習慣がなく肝不全で死亡した患者20例を剖検したところ、重度のアルコール性肝炎と似た病変を認めました。その多くが肥満・糖尿病・高脂血症・高血圧を合併していたことから「非アルコール性脂肪肝炎」として論文発表されたのです。私が、アルコール性肝障害の研究のため米国留学中の出来事でした。

橋本 メタボが関連しているのですか？

岡上 はい。そして86年に、非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)という病態が提唱され、欧米では2000年ごろからNAFLD、NASHの研究が本格的に始

まりました。日本でも、その動きに注目する人もいましたが、当時はウイルス性肝炎、特にB型・C型肝炎に関する研究が全盛期そんな状況に「ウイルス性肝炎は感染症であり、いつかは制圧される。このままだと日本は取り残される」と、私は不安を感じました。

橋本 それでどうしたのですか？

岡上 私は02年から日本肝臓学会の理事を、05年から日本消化器病学会の理事を務め、両学会の理事長にこれからは日本もNAFLD、NASHに注目していくべきと進言しました。07年に当病院長に就任してからも、NAFLD、NASHの研究の重要性を国に対して訴え続けました。

NASH発症・進展の機序
two hits theoryでなく、multiple parallel hits hypothesisが主流

First hit?	Second hit?
正常	脂肪肝
Obesity (~2000万人) diabetes dyslipidemia hypertension	NASH lipid peroxidation (~500万人) Adipokines endotoxin iron deposit

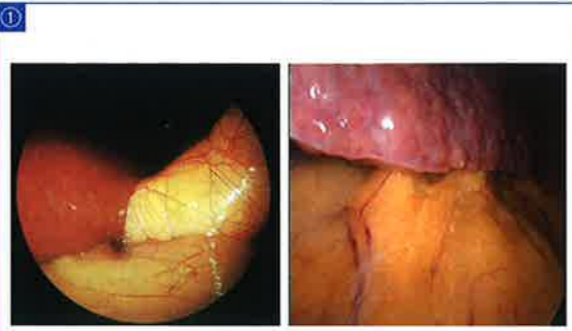
multiple parallel hits hypothesis
肝臓、内臓脂肪、筋肉、腸管

肝硬変、肝臓

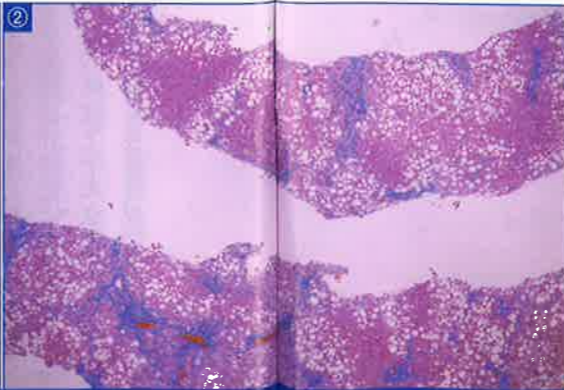
10-30%/10年

肝臓代謝異常、インスリン抵抗性、酸化ストレス
自然免疫、遺伝的素因など

Day CP, James OFW, Gastroenterology 1998; 114:842-5
Tilg H et al. Hepatology 2010; 52: 1836-1846



【写真①】左の写真の赤い臓器が肝臓。初期のNASHで線維化したが、右は30年後、肝臓の表面は凹凸になり、肝硬変に進行している



【写真②】肝生検では採取する部位で所見が異なる。青く見えるのが線維、白いところが脂肪滴

※新型コロナウイルス感染防止のため、当分の間、インタビューは当該施設の済生記者が務めます。また、写真撮影時のみマスクを外しています

たかが脂肪肝とあなどれない!
肥満でない人も要注意。



2021年7月、吹田病院でNASHの診断をAIで行なうシステムの開発を記者発表した

橋本 警鐘を鳴らし続けたのですね。
岡上 そうです。そのかいあって、08年に厚生労働省の肝炎等克服緊急対策研究事業の中で、私は「非アルコール性脂肪肝疾患の病態解明と診断法・治療法の開発に関する研究」の研究代表者を務め、我が国で本格的に研究がスタートしました。これを機に、ウイルス性肝炎一辺倒だった日本の肝炎医療は、特にC型肝炎の新規患者が激減し特効薬も登場するなど克服の方向へ向かい始めたことも受け、NAFLD、NASHへとシフトしています。

1分でスクリーニング可能

橋本 日本人は比較的肥満が少ないのに、NAFLD、NASHが増えているのはなぜですか。
岡上 いいところに気づきましたね。確かにNAFLD患者の背景には肥満・糖尿病・脂質異常症・高血圧といったメタボリックシンドロームがありますが、非肥満者も一定程度います。専門的な話になりますが、22番染色体近傍のPNPLA3遺伝子には

CC型、CG型、GG型の3種類があり、GG型がNASHの発症・進展に關与する危険遺伝子型です。
橋本 GG型の遺伝子を有する人はどれくらいいますか。
岡上 日本人は欧米人よ

化の程度によって決まります。線維化の程度はF0(線維化なしの脂肪肝)〜4(肝硬変)に分類され、線維化のスピードは1段階進むのに平均7年かかります。最近の研究で、NAFLDとNASHの病態は相互に可逆的な関係であることがわかっています。つまり、肥満のNASHの人は、ダイエットによって線維化が改善するということです。

開発は名誉院長室で

橋本 すると、早期発見が大切ですね。
岡上 ですが、脂肪肝になってもほとんど自覚症状がありません。肝臓の代償能力は相当なもので、8割が機能しなくなっても、残りの2割が働けば生命を維持できます。黄疸やむくみが現れた頃には肝硬変がかなり進んでしまい、そんな状態になるまで気がつかないケースが珍しくありません。NASHになっても、よほど線維化が進行しない限り症状に気づくことはないでしょう。

橋本 沈黙の臓器、が硬化して、いつのまにか壊れてしまう——怖いですね。そうならないためにも、「NASHスコープ」が早く普及するといいですね。
岡上 AI診断の精度は高く、専門医が行なう肝生検による診断と95%以上一致しま

りGG型の割合が高く、4人に1人が持っていることを我々は明らかにしました。ですから、太っていない人も安心はできません。肝臓のほか、食道・胃・膵臓・大腸などさまざまな臓器にがんが発症しやすいものもNAFLD、NASHの怖いところ



か。

岡上 まずNAFLDをスクリーニングし、その中からNASHを確実に拾い上げるのが重要です。そのための検査・診断は、肝生検が世界標準。鉛筆の芯より少し太い針を肝臓に刺し、組織を採取して顕微鏡で調べますが、肝臓はとても大きな臓器なので、わずかな量の肝生検材料で全体像を正確に診断することは困難で、また、病理医によって判定にばらつきが出たりする可能性が高いことが問題になっています。
橋本 注射や生検は痛そうですね。

す。「NASHスコープ・エコースコープ」は診断だけでなく、治療効果の判定にも有用です。

橋本 NASHの治療はどのように?
岡上 いまのところ、食事療法と運動療法が主体です。世界中でNASHの治療薬は開発中ですが、肝臓の線維化を改善する効果のある有望な薬もできかけています。根



本的な治療法は肝移植で、米国では盛んに行なわれています。日本でもいずれは同じような状況になるのではないのでしょうか。
橋本 当院は、日本のNAFLD、NASHの臨床研究、検査・診断で中心的役割を担っていると聞きます。岡上先生が土台を築き、けん引してきたのですね。

【取材を終えて】
「自分の仕事に興味を持つ」「疑問を持ち疑問を解決するために努力する」。これは岡上名誉院長が繰り返し職員に伝えている言葉です。精力的に臨床と研究の最前線に

岡上 生検のたびに針を刺される患者さんの肉体的・精神的な負担も大きいし、入院が必要で。それをなんとかしたいと考え、低侵襲で安全かつ精度よくNASHを拾い上げる人工知能(AI)診断システム「NASHスコープ」を開発しました。
橋本 「NASHスコープ」の仕組みは?

岡上 当院で肝生検を行なった約1300人のNAFLDのうち十分な組織が採取され・臨床データがすべてそろっている324例を選び、単純性脂肪肝とNASHで差がある日常使用する臨床データを使いAIに学習させました。

橋本 AIに学習? どのようなことを?
岡上 患者の年齢・性別・身長・体重・腹囲・コレステロール・中性脂肪・血小板と肝機能が分かるAST・ALT・GGTの11項目をパソコンに入力するだけで診断できます。これが「NASHスコープ」です。ものの1分でNASHをスクリーニング可能で。さらに、肝線維化マーカーの4型コラーゲン7S(T4C7S)の数値を入力すれば線維化の程度も簡単にわかります(Fiboskoop)。

橋本 肝臓の線維化とはなんですか。
岡上 けがをするとかさぶたができますよね? あれは線維が増えていた状態です。やけどなどでケロイドになるのも線維が増えたから。肝臓に線維が増えると、固くなって最後は肝硬変になります。
橋本 肝臓でそんなことが。

岡上 NASH患者の予後は、肝臓の線維

岡上 日本が世界に取り残されてはならないとの思いで臨床と研究に打ち込み、島俊英吹田病院院長らの協力もあり、欧米等の医学誌に掲載されたNASH関連の原著論文は150本を超えました。
橋本 「NASHスコープ・エコースコープ」の開発も、吹田病院で行なったとは知りませんでした。

岡上 取り組み始めたのは4年前。AIは私の専門外なので、知人を介して技術者を紹介してもらい、名誉院長室に毎週土曜日に集まりディスカッションしてシステムを作り上げていきました。

橋本 「NASHスコープ・Fiboskoop」は実際の診療で実用化しているのですか。
岡上 当院の健診センターで使っていますし、福井県済生会病院も積極的に活用し、すでに1万例を診断していると聞いています。患者さんの侵襲が減り、診断にかかる費用も1回数千円程度と負担が少ないのが大きなメリットです。

橋本 負担が少ないのは安心です。
岡上 潜在的なNAFLD、NASHの患者を早期に見出し治療すれば、医療費の削減にもつながります。一日も早く公的保険が適用され、全国に普及してほしいと期待しています。

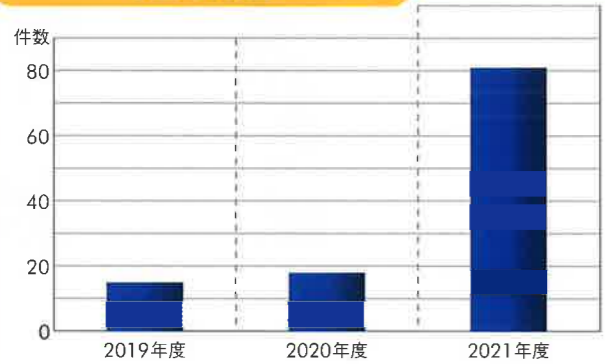
立ち続けることを体現しているその姿勢は、いつも私たちの背中を押してくれていると改めて感じた取材でした。

(橋本 茜)



身体への負担を軽減できる大腸CT検査

大腸CT件数



患者さんの診断遅れを防いだ症例も含まれます。このように大腸CT検査のメリットが明らかになるにつれ、当初は精度に懐疑的な見方もしていた消化器内科・外科メンバーも、「内視鏡で確認した病変の形態が、大腸CTで描出した形態とほぼ同じ」「通常の大腸カメラでは死角となる、ひだの裏側の病

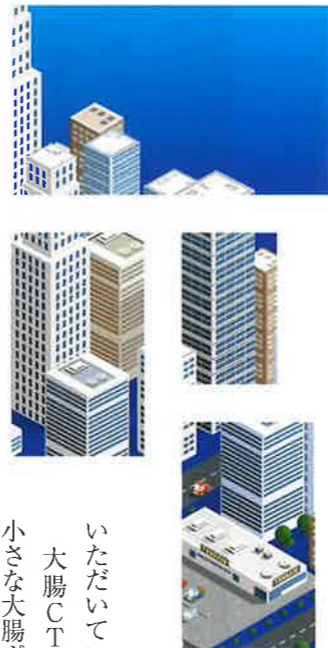
変も検出できる」と、信頼や期待を高めています。当院では、腸の癒着などで内視鏡が入りにくい人や、検査に抵抗感がある人へ、内視鏡検査に次ぐ、第2の選択肢として、患者さんにやさしい大腸CT検査を積極的に勧めています。福井県の大腸がん検診における便潜血陽性患者の精密検査受診率は約7割にとどまる現況。残り3割の抵抗感を少しでも取り除いて、より多くの人に精検を受けていただき、大腸がんの早期発見・早期治療につなげていきます。

検査を要望いただいているもの。地域の医療機関の診療支援とともに、当院の新規患者の獲得にも貢献しています。

济生会
交差点
SAISEIKAI JUNCTION
济生会にはたくさんの道があります。道はどこかの交差点で交わり、離れていきます。そして経路は異なっても目的地はみんな同じ。「笑顔」です。

第2の選択肢で精検受診率を高めたい
大腸CT検査を受けた患者さんからは「肛門から炭酸ガスを注入し大腸を膨らませるので、腹満感はあるものの、以前受けた大腸カメラの苦痛と比べれば楽でよかった」とうれしい声も

第2の選択肢で精検受診率を高めたい



いただいたいます。大腸CT検査で、小さな大腸ポリープが対象のEMR（内視鏡的粘膜切除術）や、腹腔鏡手術などの治療へつながった症例は、114例中8例（腺腫3・粘膜がん2・粘膜下層がん2・進行がん1。19年7月〜22年3月）。痛みを嫌って大腸カメラを拒否した患者さんの診断遅れを防いだ症例も含まれます。



患者さんに大腸CT検査の結果を説明する筆者

体への負担が少ない
大腸CT検査を積極推進
地域からの検査紹介が7割



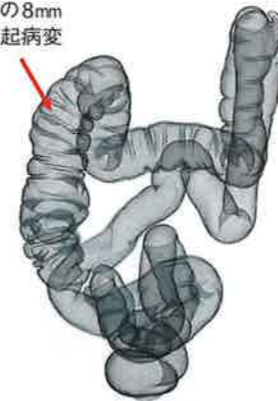
研修医に大腸CT検査について指導する筆者(左)。「大腸がんの早期発見・治療につなげたい」と話す

この際、当院の方針・体制を院外に向けて積極的に広報しました。連携先の消化器科医師の元へ足を運んでこの検査の利点などを説明したほか、県内の消化器実地医家への啓発活動として、地方学会や福井県胃腸疾患懇話会で、大腸CT検査で発見した大腸がん例を紹介。患者さん・地域住民にも、地元の新聞やテレビ番組を通じ、大腸カメラよりも負担の少ない大腸CT検査の特色などを広く伝えました。

21年度の大腸CT検査件数は、前年度の4倍以上の80件に増加。いまでは大腸CT検査の約7割は、他医療機関からの紹介患者さんが占めています。多くは「当院の大腸カメラでは大腸全体を観察できない」として、腹部全体が見られる当院の大腸CT

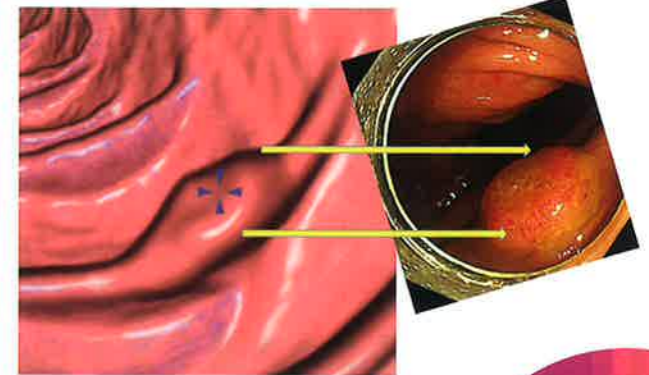
大腸CT air image

ひだ上の8mm平坦隆起病変



大腸CT 発見症例

上行結腸早期がん 粘膜下層がん。8mmの小病変でも中心の「くぼみ」も抽出されている



患者にやさしい
大腸検査

福井県济生会病院
外科部長
高嶋吉浩

福井県济生会病院は2019年7月から、大腸カメラ（大腸内視鏡）に比べて体への負担が少ない大腸CT検査を行なっています。大腸カメラが入りにくい、つらい・痛いなどの理由で大腸内視鏡検査を受けられない人へ、周辺施設にない選択肢を用意し、大腸がんの早期発見・早期治療につなげるのが目的です。

啓発活動で検査数が4倍増
そして21年4月から、大腸CT検査の対応件数を週1枠から2枠へ拡充しました。当院の中長期ビジョンで「高齢者に優しい医療」が掲げられ、宗本義則副院長から「大腸カメラが困難な高齢者へ、優しい検査を提供しよう」と示されたことを受けた対応です。



大腸CT検査を担当する放射線技術部の竹林茂治主任(左)と小林鉄也主任(右)

「陸の済生丸」が地域を巡る 多職種で毎年60回の健康教室

地域へ出かける
健康教室

〈愛媛〉
西条病院
社会福祉課長
石村一美

岡山・広島・香川・愛媛の済生会病院が共同運営する、国内唯一の診療船「済生丸」。1962年に運航開始し、海を渡る病院として、瀬戸内海の離島の健康を支えています。

一方、当地・西条市は人口11万人で四国有数の田園都市ながら、南に石鎚連峰が深い山ひだをつくり、山間部のあちこちに限界集落が点在する地勢。当院は、陸の孤島のような山の集落



を巡る医療・福祉活動を「陸の済生丸」と名付け、2011年から展開しています。

孤立する 限界集落を救う

「陸の済生丸」は、岡田眞一院



介護福祉士が、認知症予防の体操とマジックを楽しく紹介



腰痛予防体操を理学療法士がレクチャー

長らが旗振り役となり11年に創設した社会福祉課の矢野泰利課長（当時）が、無休事業の普及活動の一環で提唱した事業。

地域の理解と協力を得るため、市役所や社会福祉協議会などに何度も足を運び、300人超のネットワークを要する民生委員・児童委員への説明会も20回以上開催。市議会議員や福祉関係者とも意見交換。住民への広報にそれぞれ協力いただきました。

そして「陸の済生丸」活動の第一弾は、人口174人・98世帯で限界集落地区に指定されていた、西条市大保木地区の健康

教室に決定。豪雨による土砂崩れなどで過去に数回、孤立している地域です。

大保木公民館の近藤俊雄館長は「集落の6割以上が高齢者で独居も多く、通院は車に乗るなど生活は助け合いで成り立っている。高齢化・健康悪化などで動けなくなることや一番心配している」と、課題を打ち明けてくれました。

そうした実情を踏まえ11年12月の第1回健康教室では「理学療法士の腰痛予防体操」と「看護師の健康相談」を同公民館で実施、高齢者16人が参加しまし

2021年度健康教室	
講師	内容
認定看護師	COVID-19 感染対策～日常生活で気をつけること～ 感染対策の基本～正しい手洗い正しくマスクを着用しよう！～ 自宅で出来る床ずれ予防 糖尿病は予防できる？
管理栄養士	食生活講座「感染症に負けない食事」 腰痛予防（体操）
理学療法士	膝痛予防（体操） 転倒予防（体操）
作業療法士	認知症予防 お薬講座「くすりの効果と副作用+お薬手帳の有効活用」
薬剤師	お薬講座「後発医薬品+お薬手帳の有効活用」 お薬講座「呼吸器とくすり+お薬手帳の有効活用」 お薬講座「腎臓とくすり+お薬手帳の有効活用」 お薬講座「生活習慣病とくすり+お薬手帳の有効活用」
臨床検査技師	心電図、血圧脈波検査、心臓血管超音波検査
介護福祉士	在宅介護～ヘルパーさんが伝える介護のコツ～ 認知症予防～体操とレクマジック～
生活相談員・介護支援専門員	認知症予防と健康 施設入所のこと、特養のこと 特養のことを含めて、在宅介護 介護保険で利用できるサービス デイやショート等、在宅サービス
訪問看護師・保健師	在宅緩和ケア

11年におよぶ実践の成果は、地域で役立つバラエティーに富んだプログラムに結実



「新型コロナウイルス対策」として感染管理認定看護師が感染予防を呼びかけ



ハローワークで求職者の生活・健康の悩みに保健師・看護師が対応



管理栄養士による食生活講座



BLS（一次救命処置）講習会も



薬剤師が「お薬講座」で薬の効果・副作用やお薬手帳の使い方を説明



作業療法士と一緒に認知症予防体操

医療・福祉を あまねく届ける

た。その後も保健師・薬剤師・管理栄養士・介護支援専門員などが計11回の健康教室を同地区で催しています。

人気が高いのは、管理栄養士の「高血圧症の食事療法」と、理学療法士の「膝痛予防体操」。「回を重ねて顔なじみもできた」「生活と医療が身近になった」などの反響が寄せられています。

この活動は12年度西条市人権同和教育研究大会の企業・行政分科会において、生活に制限の多い過疎地域の要望を捉え、非常に効果的と評価されました。

12年目のいま「陸の済生丸」は、西条市・新居浜市の職業訓練校・公民館・学校などへも活動の場を広げ、毎年約60回の健康教室・健康相談などを計画。地域の恒例イベントとして定着しています。20年度以降はコロナ禍で中止していた期間もありましたが「いつでもよいので開いてほしい」とうれしい要望も届きました。

そうした声に応えるためにも、ウィズコロナ・アフターコロナの健康教室の在り方は模索

美大とコラボ アートプロジェクト

京都済生会病院
新病院内装・サイン検討ワーキング
リーダー／企画広報室長

松岡志穂



病気を忘れホッと一息 癒やしと対話の ホスピタルアート

済生会京都府病院から京都
済生会病院へ——6月1日、
当院は名称も新たに新築移転し
ました。乙訓地域（長岡京市・
向日市・大山崎町）の基幹病院
として、特に救急・手術などの
急性期機能や、周産期・小児医

済生会京都府病院から京都
済生会病院へ——6月1日、
当院は名称も新たに新築移転し
ました。乙訓地域（長岡京市・
向日市・大山崎町）の基幹病院
として、特に救急・手術などの
急性期機能や、周産期・小児医

壁紙・床材・サインの
字体までを、内装・サ
イン検討ワーキングの
職員で決めました。
産科・小児科病棟に
は、ホスピタルアート
を導入。「子どもや家
族の気持ちを晴れやか
にし、入院生活を少し
でも楽しいものにした」との
勝見良樹小児科部長の意向です。
昨年4月にホスピタルアートの
プロジェクトを発足、嵯峨美術大



学と一緒に作り上げました。

はじめての産学連携

まず同大芸術学部デザイン学

思い出や歴史を映し出し 本人・家族の納得を支える

ケアマネジャー のしごと

山口地域ケアセンター
居宅介護サービス複合施設にほ苑
介護支援専門員
吉本祐子



状態把握で利用者さん宅を毎月定期訪問。「あの神社に、よくお参りしてたな」「そのお菓子、私も好きです」。日常会話のやり取りから利用者さんの思いをくみ取っていく

中。差し当たって今年度は、検
温・手指消毒・空気清浄機
の設置など感染防止対策を
にほ苑がある山口市仁保
地区は、山々に囲まれた自
然豊かな中山間地域です。
広く開放的な土地には昔な
がらの家々が点在し、土間
がある利用者さん宅も珍しくあ

徹底し、可能な限り再開してい
ます。
済生会の理念と使命、ヒュー
リません。
筆者は入職4年目のケアマネ
ジャー。高齢化・過疎化が進む
この地区で、要介護認定を受け
た利用者さん・ご家族の希望す
る生活の実現に「何が必要か」

この間の関わり
で特に印象に残っ
ているのが、「家に
帰りたい」との強
い希望で入院先か
ら自宅に帰ってき
た、がん末期のO
さん。
妹さんが同席し
た初回面談時から
「Oさんに必要な
サービスは何だろ
う」と頭がいっぱ
いな私。その思い



【左】利用者さん宅前でご家族と「天気いいですね～」など、何気ない会話で関係づくり
【中】ご家族から本人の様子を聞くことも 【右】来月のサービスの利用予定について話す

とは裏腹に、都合3回ほど面談
しても、Oさんや妹さんからは
意向を聞き取ることができませ
んでした。
5日ほど妹さんと自宅で過ご
した後にOさんは再入院し、数
日後に逝去。何もできなかった
私はモヤモヤとした気持ちを抱

えたまま、支援が終了しました。
後日、妹さんからOさんの訃報
を受け、その時初めて、妹さん
の思いや気持ちを知ったのです。
**自分を素直に見つめ続ける
そんな存在でありたい**
妹さんは涙ながらに「コロナ

禍での看取りに
強い不安があっ
た。短い間でも
「最期に家で仏
様を拜みたい」と
いう本人の希
望をかなえるこ
とができてよか
った」と、溜ま
りた気持ちを吐き出すように話
してくれました。
その会話の後、私は「支援の
形ばかりにとらわれ、反応を待
つ余裕がないから、意向を聞き
取れなかったんだ。本人・ご家
族が心の内に抱える大きな不安
や悲しみ、願いを想像しきれて
いなかった」と反省しました。
「たとえ利用者さんや家族のそ
ばにいたいことしかできなくて
も、その人の思い出や歴史を映
し出す鏡のような役割を果たそ
う。そして限りある時間の過ご
し方を、本人・家族が納得した
形で決められるような支援をし
よう」——私はそんなケアマネ

でありたいと心に誓いました。
それからは「相手の反応を待
つ」ことを意識。一方的に話し
ていると感じたら、少し間を置
いたり、会話を促す問いかけを
したりしています。
昨年の第15回介護支援専門員
協会全国大会・シンポジウムで、
対人支援の本質を改めて教えて
もらったこのエピソードを発表
しました。その際に、シンポジ
ウムの助言者で前日本女子大学
の渡部律子教授から「自分を素
直に見つめ続けるケアマネジャ
ー」というキャッチコピーをい
ただきました。そうあり続けら
れるよう努めていきます。

マンネットワークを頼りに船出
した「陸の済生丸」は、これか
らも地域を巡り続けます。「医

療と福祉の光をあまねく届けた
い」そんな思いを乗せて——。

あなたの写真がカレンダーに!?



11月号までに掲載された記事の中で、良い表情をとらえた写真が対象

機関誌「済生」に載った写真の中から編集部が厳選、カレンダーにしてプレゼント！カレンダーのサイズは、済生会の「なでこの花カレンダー」と同様です。当選者の発表は本誌12月号に。応募の詳細は【撮影】大きく引き延ばすので正確なピントと適切な露出に【構図】横。画面に撮影の日付が入っているものは審査対象外【写真の規格】写真はデジタルデータに限り、サイズは1MB以上【送付方法】いつも通り、原稿と写真をセットにして本部広報室・下記メールアドレス宛に送ってください。写真のデータ量が大きい場合は大容量ファイルで送ってください【参加資格】本会支部・施設の職員

詳細は「済生」本年2月号P20をご参照ください

宛先: koho@saiseikai.or.jp



勝見部長が「隠れた動物を探す仕掛けはどう？」と要望（今年3月のデザイン提案会）



現地見学会で最終のサイズ確認



「さまざまな人に思いを寄せた、素敵なデザインをありがとう」と嵯峨美大生に感謝する勝見部長（右）と森看護課長



「マイクロワンダー」がテーマのアートと嵯峨美大のみなさん



「ありさん！いち、にい、さーん……」と、小さな患者さんはアートに夢中

る学生の糧になる「経験」という本プロジェクトの裏テーマがなかったのを感じました。アートを施したのは、プレイルーム・廊下・処置室の3カ所。どんな動物がどこにいるのか探したり、デザインに隠した漢字を見つけたりする楽しい仕掛けもあります。開院早々、小さな患者さんが、虫や動物を



隠れた漢字を見つける仕掛けも

夢中でたどる姿も見られました。ホスピタルアートを通し、たくさんの方に明るい対話が生まれることを期待しています。

科の池田泰子教授と2・3年生約30人と、勝見部長・森ゆかり看護課長らが意見交換しイメージを擦り合わせました。学生から入院中の様子を聞かれ、「治療のためとはいえ突然抱かれたり引っぱられたり、病气やけがのほかに、本人の意思に添わない苦痛もある。だから子ども親も病気を忘れ、すごいなあきれいだなあと思える瞬間を演出したい」とプロジェクトの狙いを説明。「病院は厳しく怖い印象だったが、医療従事者のやさしさを知り見方が変わった」「みなさんの思いをしつかり表現します」と学生の理解を得て団結していきました。肝心のアートは、絵本「かみさまからのおくりもの」（ひぐちみちこ作）をモチーフに設定。誕生の際、神様から赤ちゃん一人ひとりに「よく笑う」「力持ち」などの個性が贈られ、みんなそれを大切に成長していくという物語を表現することに。「個性豊かな動物や昆虫の姿から、子どもが自分のいいところを見つけられるアート」「子ども・家族と医療従事者の対話のきっかけにしよう」とアイデアを膨らませていきました。



嵯峨美大学芸術学部デザイン学科のみなさん

子どもが夢中になるアートのチカラ！

現地見学会・デザイン提案会などで当院の要望も随時伝えながらデザインを固め、壁紙シートに印刷したものを壁面に貼り今年5月中旬に完成。お披露目会では「何十年も地域の健康を支えていく病院のデザインに携われて、自身も成長できた」「アートのチカラで、患者さんによりよい時間を過ごしてもらえればうれしい」と学生の歓声が響きました。「これから社会に出



処置室も動物たちがにぎやかにお出迎え



プレイルームのアートはマイクロワンダーがテーマ



廊下一面を彩るアート

小樽で「済生会フェア」



3年ぶりに参加者を集めて開催

3年ぶりに参加者を集めた済生会フェアが、6月20～26日、北海道小樽市の大型商業・ウイニングベイ小樽内にある「済生会ビレッジ」で開かれ、期間中、約2000人が来場しました。「市民に、明るく・楽しく・生き生きと過ごしてほしい」。済生会・企業・福祉団体などが同じ思いの下で協働した「済生会ウエルネスフェア」では「健康とまちづくり」をテーマにした多彩なイベントを実施。買い物を楽しみながら健康に関する情報に接するさまざまなコーナーが設けられました。25日はスペシャルデイと銘打って講演会や体験会を実施。健康測定では、

骨密度測定や体組成計測定、唾液検査で口の中の健康をチェックできるコーナーを設け、済生会や企業の職員が、健康状態を分かりやすく説明していました。

フェアの開催にあわせてウイニングベイ小樽内に設けた「済生会ウイニングベイウオーキング」では、3種類のウオーキングコースにそって、参加者は小樽病院のリハビリスタッフから歩き方のコツを学びました。

講演会では、炭谷茂理事長が「済生会におけるソーシャルインクルージョンのまちづくり」と題し、「済生会は、障害者や貧困者など社会的に弱い立場の人々を地域が受け入れる『ソーシャルインクルージョン』という理念に基づいたまちづくりに取り組んでいる。地域のみならず一緒に進んでこれを進めていきたい」と訴えました。参加者は「ソーシャルインクルージョンを理解できた」「分かりやすい説明だった」「済生会の熱い思いが伝わった」と話していました。

26日は手足に障害のある子どもたちの「あそび」の工夫を紹介するイベント「あそびログ」を実施。目を動かすだけでキャンパスに絵を描くことができるコンピュータシステムの紹介コーナーでは、子どもが描いた作品を缶バッチにしてプレゼントしていました。

(北海道済生会 清水雅成)

済生会・企業・福祉団体などが協働、2000人来場

大型商業施設の
済生会ビレッジ

済生会はソーシャルインクルージョン推進計画を策定しました。
無料低額診療もなでこプランも、この中に含まれます。
だれも排除されないまちづくりを目指し、
全支部・施設が1696事業を展開します。

医師・看護師・MSWが 更生保護施設で医療相談会



千布裕副院長と看護師・医療ソーシャルワーカーが6月17日、更生保護施設「佐賀県恒産会」を訪れ、入所者さんを対象にした医療相談会を開きました。
佐賀県恒産会は、刑務所から出所した人を一定期間保護し、社会復帰を手助けする県内唯一の更生保護施設。当院は2010年から定期的に訪問していますが、新型コロナウイルスの影響で今回は半年ぶりの訪問です。



持病のある入所者さんも多く、この機会に健康の悩みを相談し、当院の無料低額診療事業や他院の受診につながった人もいます。この活動が健康について見つめ直すきっかけとなり、社会復帰の一助になれば幸いです。
(MSW 福水亮太)

みらいば話してみよう

長崎福祉センター



第2回長崎市西山台小学校区話し合いの場が6月12日に開催され、筆者が参加しました。長崎市は「地域による地域のためのまちづくり」を提唱していて、その実現を目指す地区単位の取り組みです。「自分たちでまちづくりをしよう」という有志の集まり・西山台小学校区コミュニティ連絡協議会設立準備委員会のスタッフと、住民計42人が集合。「高齢者・福祉」「地域とのつながり」「子ども・子育て」「生活環境」の4テーマについてグループごとに意見交換しました。「桜の名所をもっと生かしたい」「コミュニティバスに来てほしい」「子どものあいさつが

よい」「サロンや老人会などが活発」などが指摘されました。「みらいば話してみよう」で（未来の話をしなすよう）」をスローガンに今後も参加を続け、地域住民と支え合い助け合える地域づくりを目指していきます。
(済生記者 川端 誠)

〈栃木〉 宇都宮病院

更生保護施設入所者の健康不安支える 今年度初の無料健診事業

窮者が対象で、25人が来院。NPO法人栃木県就労支援事業者機構が、就労支援事業の一環で用意したバスで来ました。
身長・体重・血圧・視力・聴力・腹囲・肥満度を測定し、採血・採尿・心電図・胸部X線も実施して、内科医が診察を行っていました。

受診した女性は「費用負担の問題で健診を受けるのが困難なので、無料健診を受けさせてもらえるのは大変ありがたいです。スタッフも親切で、不安なく受診できました。新型コロナウイルスで病院も大変な中での対応に感謝しています」と述べました。
(地域連携課 秋山綾香)



今年度初の無料健診事業を6月7日・21日に実施しました。コロナ禍で中止・延期が続いた中、事前問診・当日検温など感染対策を講じ、ようやく実現できました。今回は栃木県内に2カ所ある更生保護施設に入所中の生活困

た」と述べていました。
(地域連携課 秋山綾香)

女性支援の結束強める つなサポ連携会議に40機関

〈栃木〉宇都宮病院

宇都宮市つながりサポート女性支援事業に協力する関係団体の連携会議が6月18日、市立南図書館サザンクロスホールで催され、当院も参加しました。

同事業において、相談や生理用品配付の窓口となる「つなサポ相談室」は、6月現在で市内に51カ所。連携する協力機関も含めると計63カ所あり、当日は40機関が参加しました。



会議では、宇都宮大学男女共同参画推進室の川面充子特任教授が、昨年度実施した生理に関するアンケート結果を説明。続いて当院地域連携課・稲見一美課長(MSW)が事業実績を報告し、ウイメンズハウスとちぎ・丸山文子代表が女性支援のポイントなどを講演。このほか協力機関が特色を説明する時間も設けました。参加者は「見知らぬ人へのサポートでこれだけの人が連携しているのを目の当たりにし、胸が熱くなった」「相談場所があると分かって安心した」と述べていました。
(地域連携課 秋山綾香)

「生理の貧困」をなくしたい

〈栃木〉宇都宮病院

宇都宮病院は、フードバンクうつのみやなどの共催で6月25日、今年度2回目の食品配布会・相談会を宇都宮市内のフードバンクで催し、MSW3人が相談員として参加しました。
当日は30人が来場。今回も職員の寄付で集まった米・カップ麺・保存食などの食品と、宇都宮市つながりサポート女性支援事業の一環で、女性24人に生理用品を無料配付しました。



猛暑の中、遠方から自転車で来た女性は「子どももいて生活が厳しい中、夫が他者の支援を

炭谷理事長が山口刑務所で講義 出所後の就労などで意見交換も



山口地域ケアセンター

当センターは2015年から山口刑務所へ職員を派遣し、職業訓練で介護技術を学ぶ介護福祉士実務者研修(全463時間)を実施しています。これまで派

拒み一人で悩んでいる。相談に乗ってもらえ安心した」とコメント。里親が亡くなり大学中退後、日雇いで働く人、3人の発達障害児と暮らすシングルマザー、当院の無低診療を利用する外国人なども訪れ、感謝の言葉をたくさん聞きました。

携課長(MSW)は「生理用品は食べ物などと比べ当事者が『ほしい』と声を上げづらい。コロナ禍の経済的困窮者だけでなく、いろんな事情で買えない人も救いたい」と無料配布の意義を強調します。



遣した職員は延べ90人。今年6月8日に開講し、受講者8人に講義と実技指導を行なっています。7月13日には、炭谷理事長が社会保障制度で講義。済生会の成り立ちや活動を紹介し、出所後の社会復帰を支援していることも説明しました。

〈奈良〉 御所病院 備蓄食576食 奈良県社会福祉協議会へ寄贈



御所病院は7月19日、賞味期限が近づいた備蓄食の缶入りのスープやみそ汁576食を、奈良県社会福祉協議会に寄贈しました。

と実情を語る同所長。炭谷理事長は「人と接する介護は大変だがやりがいのある仕事。生きがいを見つけ、長く続けてほしい」と期待を述べました。

同協議会への備蓄食の寄贈は、昨年3月に引き

続き2度目。当院は、フードロス削減を目指した取り組みを、ソーシャルインクルージョン推進計画の一つに位置づけていま

す。同協議会の石井裕章常務理事は「昨年度寄贈いただいた際は、支援希望が200件ほどありま

した。今回の備蓄食にもすでに問い合わせを受けています。コロナ禍で支援の必要な人がたくさんいるので助かります」と大

変喜ばれました。当院は、地域に根ざしたさまざまな取り組みを継続していきます。(事務部長 田中 隆)

フードドライブで635品を 「もったいない」から「ありがとう」へ

〈岩手〉北上済生会病院



北上済生会病院は7月8日、北上市社会福祉協議会に食料品を寄付しました。6月6〜13日の1週間、職員に自宅で活用していない食品の寄付を呼びかけ、賞味期限切れが迫った病院の備蓄食と合わせて計635品を提供しました。

フードドライブとは、家庭や事業所で活用しきれない未使用の食品を持ち寄り、まとめてフードバンク団体や、地域の福祉施設、子ども食堂などに寄付するボランティア活動です。当院

では、無料低額診療推進運営委員会を中心に昨年度から実施。フードロスや環境保全などSDGsの課題を、自分ごとと捉えて、行動変容を促すきっかけになればと考えています。

フードドライブは、「もったいない」を「ありがとう」に変えるチャンス。皆さんも、ぜひ行動を。

「社会を明るくする運動」 日田で5年ぶりの開催

〈大分〉日田病院

法務省が主唱する「社会を明るくする運動・日田地区推進大会」が7月3日、日田市民文化会館で開催されました。

この運動は、国の更生保護事業について広く国民の理解を求めるもの。当院は、大分県地域生活定着支援センター(大分市)の運営や、更生保護法人豊洲保護会が運営する更生保護施設あけほの寮(大分市)への職員派遣事業などを通して、更生保護事業の一翼を担っています。

推進大会はコロナ禍で3年ぶりの開催。主催者の日田市長をはじめ、関係者約150人が集まる中、当院からは平田勝基

掛川千恵子(医事課)



福島総合病院



がんばろう! 済生会

KEEP DISTANCE!!

「必死でがんばる同じ済生会の職員を何とかして応援したい!」京都済生会病院の職員の思いが全国に広がっています。新型コロナウイルスとの闘いはまだ続きますが、どこにいても、私たちの心はひとつ。がんばる仲間を応援しています。



福島総合病院



磯村勇斗

Hayato Isonuma

爽やかな好青年からツッパリ、同性愛者と、作品ごとに演じ分け、注目作へのオファーが絶えない磯村勇斗さん。

今年の出演映画はすでに7本。

磯村さんが若手刑事を演じ、

阿部寛さんと対峙する

『異動辞令は音楽隊!』も

見逃せません。

本作の見どころ、

俳優人生における

ターニングポイントに

ついて聞きました。



いま、もつとも多忙な俳優の一人。

ある作品が自分の芝居を見つめ直すきっかけに

「阿部寛さん演じる鬼刑事が音楽隊に異動し、第二の人生にチャレンジする物語です。『築いてきたものをすべて失っても人生はやり直せるんだ』というポジティブなメッセージが、阿部さんが醸し出すストイックな空気とともにみなさんに届くのではないかと思います」と、新作

映画について語る磯村さん。キーパーソンとして、自身もセリフに頼らない繊細な演技で存在感を示した。実は、昨年の映画『ヤクザと家族 The Family』がきっかけで演じ方に大きな変化があったという。「ひとと言おうと力を抜けるようになりました。脚本を読み込み、自分な

りの解釈で役を固めても、いったん忘れて現場に入ることで、そこで生まれる感情を楽しめるようになったんです。この作品で映画界に名前を知っていただき、たくさん映画と出会うことができたと思っています」

多忙を極めるなかでの息抜きは、料理。「この間は50〜60センチの目鯛を市場で仕入れて、刺身にしたらあとはムニエル、煮もの、揚げものにして最後までおいしく食べました!」。海の幸で有名な沼津出身だけあって、目利きもなかなかのもの。いざれ船舶免許を取り、クルーザーで海に出て、釣った魚をその場でさばいて食べるのが夢だという。

演技と料理の共通点は「集中」。次の作品でも、感覚が研ぎ澄まされた演技を見せてくれるに違いない。

『異動辞令は音楽隊!』

現場一筋30年、犯罪撲滅にすべてを捧げてきた鬼刑事・成瀬司。だが、警察でもコンプライアンスが重視される今の時代に、違法すれすれの捜査や部下を追い詰めるマウンティングで、周囲から完全に浮いた存在になっていた。出世にも興味がなく上司に桶突き、ついに命じられた異動先はまさかの警察音楽隊。それでもまた輝ける場所は必ずある。人生大逆転エンターテインメント!

■原案・脚本・監督：内田英治

■出演：阿部寛、清野菜名、磯村勇斗、高杉真宙、倍賞美津子ほか

8月26日(金)より全国ロードショー【配給：ギャガ】

衣装協力：

- ジャケット、シャツ、ネクタイ
シュウマン (080-5357-9583)
- 左手リング
ジャスティン・デビス (03-3401-5001)



Text：みやじまなおみ

Photos：吉川信之

Hair & Make-up：佐藤友勝

Styling：笠井時夢

いそむら・はやと 1992年生まれ、静岡県出身。2015年、『仮面ライダーゴースト』に出演。17年、NHK連続ドラマ『ひよっこ』のヒデ役で一躍人気者に。以降、さまざまな映像作品に出演し注目を集める。22年、映画『ヤクザと家族 The Family』『劇場版「きのう何食べた?」』で日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞。その他の出演映画に『前科者』、第75回カンヌ映画祭でカメラドール特別賞を受けた『PLAN 75』、初主演作『ピラーバース』など(すべて22年)。



©2022『異動辞令は音楽隊!』製作委員会



Vol. 147

口福につぼん

吉井省一

タードプリンになったとのこと。さらに、これが日本へ伝わるのは幕末・明治維新まで待たねばなりません。今回は、このプリンの歴史に、新たな1ページを開かんとするプリン×ソースのお話です。

スーパーやコンビニで市販されているプリン、容器の底に

カラメルソ

ースが入っ

ているもの

が一般的で

すが、今回

ご紹介するセ

ットは6種類

のプリンを1

2種類の専用

ソースと組み

合わせて味わ

うもの。スプ

リンひとさじ

ごとにソ

ースを変えて

、味変々を楽しむ

こともできる

のです。



済生会の「病院・施設」がある府内の市区町村

よいい・せいいち コピーライター・作家。老舗百貨店の食の通販誌では約30年にわたって執筆に携わり、全国各地を取材。試食した食品の数は1万点を超える。

59 《プリン》のプリン×ソース 大阪府 松原市

期待が持てます。

6種のプリンは——牛乳と卵の味をシンプルに追求した「真・プリン」の「なめらか」と「かため」。著名なコーヒーマイスターがプリンに入れるためにブレンドした「プリンブレンド」。最高グレードのパニラビーンズを使った「マダガスカル」。ドイツの老舗紅茶メーカーの茶葉を使った「アッサム」。全国ブランド卵究極の卵ランキング第1位の卵やご当地牛乳ブランド「最高金賞」の牛乳を使った究極のプリン「生粹」。たゆまぬ研究の成果である美味しさを閉じ



プリンの口どけや味わいを決定づける牛乳・卵は、特に吟味を重ね、生産哲学に共感できる生産者から購入



このシズル感からの想像を、凌駕する味わい

開発したのは、その名も「プリン研究所」。どうです、このネーミング。ややベタですが、朝から晩までプリンの美味しさを研究するひたむきさを感じられるではありませんか。

込めるため、特殊な製法で瓶内を真空状態にするほどのこだわりようです。

パートナー候補の専用ソースは「ノーマル」「ビター」「スイート」「パニラ」「ラム」「ブランデー」「オレンジ」「シナモン」「アニス（ほのかな甘さの世界で最も歴史あるスパイスの一つ）



「チョコレイト」「ラズベリー」「マンゴーパッション」の12種類。さて、その組み合わせの味わいやいかに。

無限大の組み合わせで、自分好みの味を研究

まずは、究極のプリンと銘打った「生粹」を。う〜ん、卵感が強い。しっかりした食感も高評価。思い切つて変化球の「ブランドー」ソースでいただく。これが香りの高さでプリンの質感が絶妙でまさに大人の味。次に、「真・プリン」の「なめ



らか」を「ノーマルカラメル」ソースで。こちらは口内ですつととろける食感に魅せられます。京都料理のような味わい。とは言い得て妙。ソースとの相性も

お互いに主張し過ぎずに味の高みを目指します。エスプレッソで作った「プリンブレンド」は「シナモンカラメル」ソースで。本格的なコー



真・プリン なめらか プリンブレンド マダガスカル

ヒーのビターなココクとシナモンの香りがエキゾチック。上質な味わいのドリンクのような存在感があります。

紅茶マイスター監修の「アッサム」には「ラム」ソースを。通常の3倍以上の茶葉を使っているだけあって、淹れたての紅茶の味と香りが専門店並み。またここに芳醇なラムが実によく合うのです。

パニラビーンズをたっぷり使った「マダガスカル」には「ラズベリー」ソース。パニラの香りはもちろん、濃厚な生クリームを使ったミルクィーナ口当たり。ラズベリーの甘酸っぱさが程よいアクセントになっています。

と、ここまでシンプルに1種類のソースを合わせてきました。が、複数のソースを好みでブレンドすれば、プリンとソースの組み合わせはほぼ無限大。



おすすめプリンセット6種×ソース12種
[プリン(かため・なめらか・パニラ・コーヒー・アッサム・生粹)各110g×6個
ソース(ノーマル・ビター・スイート・パニラ・ラム・ブランデー・アニス・シナモン・オレンジ・チョコレイト・ラズベリー・マンゴーパッション)各5cc×12個]
5,292円(税込・送料別) 賞味期限……冷蔵11日(製造日から)

お取り寄せ・お問い合わせは
プリン研究所 〒580-0026 大阪府松原市天美我堂2-453-2
TEL: 072-343-1319 営業時間: 12:00 ~ 18:00
(休業日: 不定休 商品発送は木・日曜日のみ)
ホームページ: <https://www.shop.puddinglaboratory.jp/>

みなさんオリジナルの味を見つけたら、プリン研究員気分をじっくり楽しんでみてはいかがでしょうか。

お部屋はなやぐ フลาว―バスケット



茎・葉

1 1/2に切った折り紙に中心線をつけてから折る

2 半分に折る

3 切込みを入れ開くように折る

4 先端を切り取る。下の辺を折る。裏も折る

1cm
2cm
1.5cm

山折り
谷折り
裏返す

花

1 1/4に切った折り紙の四つの角を折ったら、開いてのり付けて再び折る

2 半分に折る

3 半分に折る

4 半分に折る

5 図のように切り取る

6 開く

だれでもかんたん
てづくり
おもちゃ

7 図のように切込みを入れると立体的になる

8 茎・葉に花を貼る。下の折り目を折り戻す。裏も折り戻す

9 小さい花は1/8サイズに切った折り紙で作る

かご

1 1枚の折り紙の四つの角を中心に向かって折る

2 図のように折る

3 四つの角を中心に向かって折ったら、開いてのり付けし再び折る

4 図のように折る

5 四つの辺を折り、折り目を付ける

6 四つの角を折り、折り目を付ける

7 すき間に指を入れ、つまむようにして折る

5 四つの辺を折り、折り目を付ける

6 四つの角を折り、折り目を付ける

7 すき間に指を入れ、つまむようにして折る

【裏面】

つまむ

つまむ

完成

花の下にのりを付けてかごに貼り合わせて完成

色とりどりの花をたくさん折って飾ってね！

【いまいみさ】 手づくりおもちゃ作家。折り紙や牛乳パックなどをリサイクルして手づくりの楽しさを伝えています。著書に「12か月のおりがみ壁飾り」など36冊。2011年から、小学校2年の教科書「こくご」(三省堂版)にも登場。「季節のイベント折り紙」(日東書院)など多数。

動画もcheck!

作品・折り図:いまいみさ
おりがみ協力:株式会社トーヨー



小学生が救命技術を競うイベントが岡山県済生会で開催。スーパーキッズの活躍を大人たちがサポートしました

topics

子どもメディカルラリー 3年ぶりに25人来院

岡山済生会総合病院

第6回岡山済生会子どもメディカルラリーを6月18日、岡山済生会総合病院・看護専門学校・ライフケアセンターの3会場で催しました。



命救急の手順などを予習し臨みました。午前中は、心肺蘇生法・AED操作・外傷応急処置・119番通報など災害時の対応に関する講義と演習を実施。午後は数人ずつのチームに分かれ、「心肺蘇生」「け

がの応急処置」「災害避難」の三つのシナリオと、「地震対策の間違い探し」「薬の処方体験」に挑戦して点数を競いました。3位入賞のチームは表彰式で「生まれて初めてメダルをもらって、うれしい。また来年も来たい！」と満面の笑顔で語ってくれました。

（子どもメディカルラリー事務局 高畑貴子）
★参加者のみなさん、ありがとうございました。倒れている人を救おうと行動する勇氣、いつまでも大切にしてください。

（本部広報室 河内淳史）



（岡山）特養みなみがた荘 技能実習生フンさん奮闘中
当施設で5月24日から働き始めたベトナム人のドオ・クオック・フンさんは、岡山県済生会が初めて受け入れた特定技能実



習生です。日本語能力が高いフンさんは仕事の理解も早く、介護に取り組み姿勢も常に積極的。早くも、利用者さん一人ひとりに最適なトロミの量も把握して食事介助を行なっています。

働き始めて1カ月経ったころ、フンさんは自ら鉛筆をとり、いまの素直な気持ちを次のようにしたためました。「利用者さまと話をしたり、一緒にレクリエ

ーションをしたりするのは楽しくてよかったです。みなさんはいつも優しくしてくれたので心から感謝します。これからも頑張っていきたいと思います」

フンさんのいまの目標は、介護福祉士資格の取得。実現に向けて、私たちともに成長でき

土田看護師が振り返る 沖縄への派遣経験

〈千葉〉習志野病院

習志野病院は、済生会本部からの広域看護師派遣要請を受け、医療提供が危機的状況に陥っている沖縄県豊見城市の友愛医療



るよう支援していきます。「大雑報」66ページでは、フンさん直筆の手紙をご紹介します。併せてご覧ください。

（介護職員 工藤富美恵）

岩本さんありがとう！ ボランティアで500時間

〈愛媛〉今治病院

ボランティア活動表彰式を5月9日に行ない、4年間で通算500時間活動した岩本節美さんを表彰しました。

何か新しいことがしたいと思っていたとき、新聞のボランティア情報欄で当院の募集を見たのがきっかけ。母親が当院に入院していたことと、娘さんが県外の病院で作業療法士をしていることもあり、「私も病院の空気を感じてみたいな」と思っ



カルパスを適用しているとの話に注目が高かったです。医療提供体制の充実が望まれている沖縄への当院の看護師派遣が、沖縄県支部足元の足掛かりの一つになればうれしいです。

（経営管理課 阿部貴子）

歩踏み出したといえます。岩本さんの趣味はカラオケ。ボウリング・ガーデニングと幅広く、先日70歳を迎えたいまもパワフルそのもの。次の目標を聞くと「目指せ1000時間！」と笑顔で即答してくれました。

（済生記者 日野美華）



〔神奈川県〕横浜市東部病院
研修医がイベントで優勝

7月2日に行なわれた臨床研修医対象の研修会イベント「臨床研修屋根瓦塾 横浜」(横浜市医師会主催)で、当院の研修医チームが1位になりました。本イベントは、京都府医師会が行なう「臨床研修屋根瓦塾 KYOTO」を参考にしたものです。研修医4人でチームを組み、ブリスを巡回。指導医から与えら



優勝チームと三角隆彦院長(左)

れた情報を基に、どんな検査・処置が適切かを考え回答します。当院からは7チームが出場しました。共通テーマは「痛み」。用意された6ブリス(頭痛・胸痛・腹痛・下肢痛・背部痛・外傷)の症例に、チームの団結力で丁寧に対応した結果、1位の評価を得ました。また終了後の研修医 welcome 意見交換会では講話のほか、抽選会も行なわれこちらでもよい結果を残しました。参加した初期研修医は「各々がそれぞれの診療科で教わった知識を活かして優勝できました！」などと喜んでいました。

(渚生記者 荒木愛美)



〔神奈川県〕若草病院
被災時の情報伝達を訓練

発災時の被災情報伝達に特化したミニ防災訓練を7月12日に実施しました。横浜市南部地域で震度5強の地震発生を想定。発災を知らせる放送の後、災害時の行動手順にのっとり、部署ごとに被災状況を把握し、部署リーダーへ被災状況を報告。リーダーは、電子カルテ上のチェックシートに入力し、それをプリントアウトして災害対策本部に提出しました。当院では訓練のたびに、よりよい対策へつなげる見直しを繰り返してまいります。



り返しています。例えば、チェックシートはより分かりやすく使いやすいものへバージョンアップ。さらに今回から、電子カルテ上でも被災状況を把握できる仕組みを導入し、災害対策本部がリアルタイムで確認できるようにになりました。より迅速で正確な情報伝達を繰り返して徹底し、実際の災害時に最良のパフォーマンスを発揮できるよう備えていきます。

(渚生記者 高木裕子)

〔愛媛県〕松山老健にきたつ苑
おかげさまで30周年

きたつ苑は5月で開設30周年を迎え、それを記念し、季刊誌「にきたつ苑」30周年記念号を発行しました。記念号の制作は、今年度の広報委員会の一大仕事。地域の皆さんや利用者さんからいただいたお祝いの言葉や、きたつ苑のこれまでの歩み、ここで働く職員を主役にした写真撮影。広報委員のみなさんであれやこれやと試行錯誤し、無事、記念号を完成させました。記念号以外にも、地域のみなさんへの感謝の気持ちを込めて、

地元紙に「にきたつ苑は地域に支えられて30周年」の記念広告を掲載しました。今後も地域に寄り添いながら、40周年、50周年、100周年！を目指していきます。

(渚生記者 鎌田尚希)

〔広島県〕特養たかね荘
デイサービスセンター
集団体操をスタート

たかね荘デイサービスではこのほど、日常生活動作(ADL)の向上を目的とした集団体操を、理学療法士とケアワーカーと一緒に始めました。月に4回、13時半からの15分程度で実施し、毎回20人以上の利用者さんが参加しています。

私たち理学療法士は、体を動かすことが好きになってもらえるように、ADL向上に効果的な運動を安全に十分配慮しお伝えしています。例えば、過度の負担をかけずともスクワット同様の効果が見込める運動として、ゆっくり椅子に座る運動や、ステップ運動、ストレッチなどをうまく組み合わせています。

継続は力なり。気に入った運動をいつでもどこでも長く続け



てもらえるように、一緒に楽しく活動していきます。

(理学療法士 宮田夏樹)

神奈川県済生会
ITで研修会も変わる

神奈川県済生会は、研修会「現場発 医療経営ベーシックコース(全3回)」を6月20日にオンラインで行ないました。この日は病院組織をテーマに三つの講義を実施し、10施設の14人が受講しました。

これは支部が毎年開催する人材育成支援事業で、昨年からは

オンラインとオンデマンド形式で実施しています。コロナ禍で始めたITの活用は、講師・スタッフの移動時間・業務負担の軽減につながり、受講者も受講しやす点が好評です。一方で、受講者の反応が講師に伝わりづらい、グループワークで全体を俯瞰しづらい、ITスキルやPC操作で事前準備も必要との課題も浮き彫りに。そのへの解決策を検討しながら今後もITの活用を進め、効率よく研修目標が達成できる運営に努めます。

(事務局 清水康貴)



〈新潟〉三条病院
成功体験を本番に生かす
発達障害児の避難訓練

発達に障害のある子どもを支援する療育サポートセンターひまわりは、6月27日からの1週間、毎日避難訓練をしました。避難訓練を怖がったり、訓練とは何かを理解したりするのが難しい子どももいます。そこで、まず避難のポイントをあいうえお作文にし、一緒に考えながら楽しく覚えさせました。「おはし」の「お」は押さない、「は」は走らない、「し」はしゃべらない——といった具合です。その後の訓練では、職員が「地



震です。頭を守る行動をとってください」の掛け声にすばやく反応し、テーブルの下に潜り込むことができました。

職員は「避難の重要性を理解してもらうため、ひまわりや小学校で繰り返し訓練するのが大事。上手にできた経験を積み重ね、本当の地震のときに落ち着いて行動できるように頑張ってほしい」と述べました。

（済生記者 丸山良樹）

〈福岡〉飯塚嘉穂病院
園芸のスヌメ

飯塚嘉穂病院では、この夏もリハビリの一環で園芸活動をしています。仕事や趣味で園芸をする患者さんもいて、土や植物の知識が乏しい私たちリハビリスタッフが指導を請うこともしばしば。この関わりを通じ、より深い信頼関係を築いた患者さんは「また畑仕事ができそう」と自信にあふれた言葉も増え、退院後も能動的に生活していただけています。

園芸をしない人も、育てた野菜で漬物作りや調理をして家庭の知恵を生き生きと披露していただくなど、生活の楽しみを見



つけるきっかけともなっています。

さらに四季を五感で感じ、植物の成長を見る喜びを共有できる園芸は、認知機能の活性化にも気分転換にも役立ちます。園芸ってすばらしい！

（リハビリテーション部 倉掛翔）

〈北海道〉重症心身障がい児
（若）施設みどりの里
ユニクロがやって来た！

みどりの里は6月10日、ユニクロ小樽店と連携し、施設訪問型買物イベント「ユニクロさんがやってくる！」を実施しました。



所者さんの個性を引き出し、機能性もおしゃれ感も得られる商品と一緒に選びました」と、イベントを楽しみました。入所者さんは選んだ商品をユニクロのロゴ入り紙袋に入れてもらい、店員さんから受け取る



と宝物のように大事に抱えた様子が印象的でした。

（済生記者 上野孝嗣）

〈大阪〉野江病院
開業医との学術講演会
当院医師73人が参加

野江病院は5月21日、第22回大阪市東部地域医療連携学術講演会を帝国ホテル大阪で開催しました。

コロナ禍のため、会場参加とオンライン配信のハイブリッドで実施。地域の開業医のほか、当院の医師73人（会場40、オンライン33）が参加しました。

当院の医師が次の学術講演を実施（消化器内科・羽生泰樹部長「潰瘍性大腸炎：診断と治療の実践」／同整形外科・柴田弘太郎部長「肩関節周囲疼痛その診断と治療法」／同精神科・前田耕路院長「不眠症の治し方」／消化器外科・壺井邦彦副部長「当院における肝切除」）。そのほか、脳神経外科・別府幹也部長が同科を紹介し、山岡新八副院長も当院の近況を報告。最後に、福田和彦病院長が閉会のあいさつをしました。開業医の先生方と活発な質疑



応答ができ、地域連携を促進する有意義な会となりました。（地域医療連携課 主任 乙度陽一）

岡山済生会外来センター
病院

AI問診に早くも手応え

岡山済生会外来センター病院の内科は6月24日から、AI問診システム（人工知能を活用したデジタル問診票）の運用を開始しました。

患者さんは、タブレット端末に表示される質問に沿って選択肢を選ぶだけ。それを基にAIが問診情報を構築。医療



用語に自動変換した情報が電子カルテに反映されます。医師はカルテ作成の労力が減り、患者さんに向き合う時間が増えました。外来受付の動線がスムーズになるので、患者さんの診察待ち時間の短縮効果も期待しています。運用開始からまだ一月足らずですが、自動生成する質問で、患者さんの声を詳細に医師へ伝えるツールとしてAI問診の活用到手応えを感じています。次は、発熱テント外来や救急外来などへも順次拡大する予定です。（済生記者 高畑貴子）

topics



〈神奈川〉わかくさ保育園 索餅と「こーい」

7月7日の七夕、当園はいろんなイベントを楽しみました。まずは七夕散歩。3年前の七夕から、散歩コースの一つ旧伊藤博文金沢別邸の笹飾りに、地域交流の一環で園児が家族と書いた短冊を飾っています。子どもたちは自分の短冊を見つけるのに夢中。小さな子もキラキラと風に揺れる飾りをじっと見つめていました。

3〜5歳児はおやつで、昔の七夕で食べていた揚げ菓子「索餅さくぺい」



〈山形〉特養愛日荘 花を飾りましょう

看取りケアをしていた、ベニバナユニットのヨシさんが7月3日に旅立たれました。



ヨシさんは脳血管疾患を発症し市立病院に入院したものの、右半身にマヒが残り経口摂取が困難となり帰ってきました。失語症で言葉が発することもできない中、娘さんたちが窓越しの

面会に来ます。私たちはほかにも楽しみをと、愛日荘で趣味や生きがいにしてきた、句の花を欠かさず飾ることにしました。「ヨシさん、新しいお花飾るね」と声をかけると、毎回花を見てうなずいてくれました。大好きな花の香りを感じながら。ヨシさんの部屋に花を飾るようになってから、誰に言われるでもなく、ユニットの共有スペースにも花を飾るようになり、「きれいだね」と入居者さんに好評で、職員同士も花についての会話が増えています。

（済生記者 高橋 睦）

〈埼玉〉川口総合病院 ウルトラマンになりたい

当院付属のドリームキッズなでしこ保育園は7月7日に七夕会を開きました。子どもたちはお気に入りの甚兵衛に身を包み、短冊に願い事を書きました。先生が織姫と彦星の絵本を読みはじめると、みんなその話に集中。次に「たなばたさま」を振り付きで元気いっばいに歌って、短冊に書いた願い事を発表しました。



〈大阪〉野江病院

餅ぺい」を作りました。小麦粉・米粉を練って細長くねじって伸ばす生地作りで「きもちいい」「やわらかうい」と粉の感触を楽しみ、出まると試食タイム。「おいしい」「さいこー」と大喜びでした。給食も、索餅が起源といわれる「七夕そうめん」。みんな道具をトッピングし、おいしくいただきました。

（済生記者 本倉美穂）

58人で考える 糖尿病治療の薬剤師の役割

令和4年度全国済生会病院薬剤師会研修会「糖尿病治療における薬剤師の役割」を6月11・12日に、大阪市中之島ダイビルを会場にハイブリッド形式で開催しました。参加者は現地13人・Web45人です。

初日は、最新知識の習得を目的に、施設報告と特別講演①「新規腎性貧血治療薬の特徴と期待点」を実施。2日目は、特別講演②「押さえておきたい糖尿病治療薬のポイント」と総合討論。参加者全員で活発に意見を交換しました。

〈栃木〉宇都宮病院

今後毎年3回の頻度で開催し、薬剤師の知識・技術の取得を後押しして、薬物療法の質的向上に貢献していきます。

（全国済生会病院薬剤師会副会長 野江病院薬剤師部長 高橋 一栄）

80年の歩みを動画に

5月30日に創立80周年を迎えた宇都宮病院は、記念動画を制作し7月から特設サイトで公開しています。

地域の皆さまへ感謝の気持ちを伝え、当院をもっと知っていただくために、節目の記念にロゴマーク・ポスター・特設サイ

<p>創立期</p> <p>1944 昭和19年8月</p> <p>創設：日本赤十字社宇都宮支社 （日本赤十字社の22年7月に創設され、戦時体制下の救済活動に貢献）</p>	<p>成長期</p> <p>1957 昭和32年1月</p> <p>総合病院の認定 病床数：224床</p>
<p>確立期</p> <p>1996 平成8年5月</p> <p>新病院オープン 病床数：644床</p> <p>手術室整備（ロボット・ハイブリッド手術室等）</p>	<p>飛躍期</p> <p>2019 平成31年1月</p>

トなどを制作してきました。今回の動画では、1942年の病院開設から現在までの80年の歩みを写真で紹介しています。動画は特設サイト以外にも、講演会・研修会・公開講座などで幅広く活用していきます。

※こちらから動画を視聴いただけます。ぜひご覧ください。

（済生記者 川原彩花）



「かわいいプリンセスになりたい」「ウルトラマンになってかじゅうをたおめますように」。保育園の先生も「みんないっぱい遊んで、たくさんのおいしさがつくれますように（職員一同）」と書きました。

みんなのすてきな願い事がかないますように。

（済生記者 原 衣里奈）

〈愛媛〉小田診療所
SDGs はじめました

小田診療所ではSDGsの一環で6月29日にゴーヤの苗5本を植え、初めての緑のカーテングりにチャレンジ中です。京河みさと看護師長を中心に1週間前から準備開始！まずは自治体が省エネ対策で配布している苗を入手し、不器用な筆者もお手伝い。京河師長のダメ出しを再三受けながら、力を合わせて完成させました。



長もアサガオの苗1本を提供してくれました。診療所では、何色の花が咲くのかと予想クイズも展開中です。みなさんは何色だと思いますか？

2カ月後には事務所の窓を覆い隠す緑のカーテンが出来上がっているかな!? クイズの正解とともに続報します！

〈放射線室 福岡博実〉

〈山形〉特養愛日荘
大きくておいしいね、

家族会から6月24日、天童市産の超高級サクランボ・佐藤錦と紅秀峰のプレゼントが届きました。



昼食のデザートで提供すると、

「大きくておいしいね」「甘いね」と、入居者さんは大喜び。あちこちでサクランボの思い出話に花が咲きます。飲み込みや嚥下が難しい人、経営栄養の人には、サクランボのゼリーやドリンクを提供。サクランボ柄のタオルなども準備して、季節を感じられる工夫もしました。

〈介護職員 佐藤郁美〉



〈埼玉〉加須病院
6月オープンの新病院で
ダビンチ手術の初症例

栗橋病院から加須病院へ、6月1日に生まれ変わった当院は、



手術支援ロボットダビンチ®を使った、初めての腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術を同13日に行ないました。ダビンチは、従来の開腹手術と比べて出血量や合併症が少なく、術後の機能温存にも優れています。術後の痛みが少なく回復も早いため入院期間短縮にもつながり、患者さんの生活の質(QOL)も高めてくれます。当院では医師・看護師・臨床

工学技士などでダビンチ手術チームを組織し、6月だけで6例の手術を実施。トレーニングや会議で十分に準備した成果に早くも手応えを感じる、幸先のよいスタートが切れました。

た。

村中部長が所轄するTQM(Total Quality Management)部は日々、医療安全ラウンドやモニタリングのほか、COVID-19感染症対策、QPS(質の改善と患者安全)指標管理、国際的医療機能評価のJCI受審対応など、あらゆる患者安全や医療の質の管理を実践。ハイリスク患者が増加する中、高度急性期医療を担い、積極的に新たな技術や手技を導入する当院にとって非常に頼もしい存在です。

〈済生記者 東賢剛〉

今後は幅広い疾患にダビンチ手術を適用していく予定です。

〈済生記者 平間翔子〉

おいもたくさんとれた
〈栃木〉うつのみや
なでしこ保育園

当園はこのほど、幼児組の食育活動で栽培しているサニレタス・ナス・ピーマン・ジャガイモなどを収穫しました。

熊本病院

村中TQM部長が
最高質安全責任者に認定

当院の村中裕之TQM部長が6月11日、最高質安全責任者に認定されました。

これは名古屋大学医学部附属病院が、患者の安全確保に尽力できる医師の育成を目指し、2019年9月に始めた最高質安全責任者CQSO養成プロジェクトの研修修了者に贈られるもの。村中部長は第3期生として、8カ月間・計150時間の研修を修了し、晴れて最高質安全責任者に認定されまし



〈宮崎〉日向病院
短冊で届いた患者の思い

毎年七夕の時期になると、日向病院の通所リハビリと療養棟には笹飾りが立てられます。今年も色とりどりの短冊が現れ、リハビリに通う患者さんや入院中の患者さん、病院のスタッフ



ツフなどが、願い事をしたためました。健康、世界平和、子どもたちの輝かしい未来——など。中でも、ひとときわすてきな短冊が通所リハビリの笹飾りに結ばれていました。願い事ではなく、

患者さんがリハビリスタッフの献身的な対応への感謝の言葉を次のようにつぶっこっていました。「いつも笑顔いつも感謝。今日も元気で頑張れます。山田さん」

メッセージを受け取ったリハビリスタッフの山田千枝子さんは「ありがたい、本当にうれしい」と、短冊を見つめます。その姿に私も胸が熱くなり、とても幸せな気分です。心なむ七夕を過ぎました。

（済生記者 村尾 愛）

熊本病院

ロボット胃切除術
100例に

ロボット・低侵襲手術センターは6月21日、手術支援ロボットによる胃切除術が累計100症例に達しました。

ロボット手術は2013年に開始し、胃がんに対しては18年8月から適用。100症例目は、日本内視鏡外科学会ロボット胃がん手術プロクターの熊本県第1号認定者・田中秀幸医師が執刀しました。

当院は術中・術後の急変リスク低減を目指し、麻酔科と外科系診療科をつなぐコンサ



ルテーションチーム「周術期外来専門チーム（PERIO）」を用意。ロボット胃切除術もPERIOの関与によって、当日入院・当日手術が可能な体制を敷いています。

従来の腹腔鏡手術に比べ、体への負担や痛みが少なく、在院日数も短いため、患者さんに非常に喜ばれています。

（済生記者 東 賢剛）

〈愛媛〉松山乳児保育園
お兄ちゃん・お姉ちゃん
大好きだよ

7月5日から8日にかけて、7人の中学生が職場体験で来ました。

お兄ちゃん・お姉ちゃんの訪問に、園児は大はしゃぎ。七夕



の飾りつけを一緒にしたり、園庭の砂場で「おだんごつくってー」とリクエストしたりして、たくさん遊んでもらいました。

すっかり仲良しになって、普段は野菜を食べられない子が中学生が見ていると食べたり、お昼寝のときに「おねえちゃんとなたい」と言い出したり。



7人のうち1人はこの卒園児で、職員にとっては、大きく成長した姿を間近に見るうれしい機会ともなりました。

職場体験を終えた中学生は、みんな「楽しかった」と言ってくれました。保育の魅力が伝わったのをうれしく思います。

（済生記者 河野敦子）

香川県済生会病院

高松交響楽団が
クラシック演奏のエール

高松交響楽団の第126回定期演奏会が6月19日、香川県県民ホールで催され、当院を含む県内の医療従事者を招待して



いただきました。

高松交響楽団は地域に根ざしたアマチュア楽団。演奏を通じて医療従事者にエールを贈りたいと、今回は「コロナ禍で闘っている医療従事者とそのご家族に感謝の思いを込めて」のタイトルで行なわれました。

香川県医師会が協力している関係で、同副会長を務める当院の若林久男院長が演奏に先立ちあいさつ。肝心の演奏では、ワーグナーの華々しい響き、メンデルスゾーンの「結婚行進曲」、そしてベートーベンがナポレオンに捧げたといわれる交響曲「英雄」など、クラシックの魅力が存分に堪能しました。

（総務課 西山汐里）

〈大阪〉野江病院
高校生のインタビュー

大阪府立芦屋高等学校（守口市）の1年生3人が7月8日「職場インタビュー」で訪れました。同校は「産業社会と人間」という科目を教育課程に位置付け、自己の在り方・生き方を考え、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養っています。「職場インタビュー」はその一環で、



生徒自ら取材先を探し訪問する職場体験活動です。

「看護師になるうと思ったのはいつ頃ですか?」「どんな時にやりがいを感じますか?」「高校の時にやっておくべきことはありますか?」——最初は緊張していた生徒も応じた3人の看護師も、質問が進むにつれて笑顔がこぼれるように。

すると、真摯に答える看護師から「当院をインタビュー先に選んだ理由は?」と生徒への逆質問も飛び出し、場は一段と和みました。

3人が職業について考える際にこの経験が役立てばうれしいです。

（済生記者 坂本千晶）

新潟病院は7月1日から、LINEアプリで診察順を通知するサービスを始めました。このサービスは、診察の順番が近づくときLINEアプリで登録した患者さんにメッセージが届く仕組み。長年取り組んできた外来待ち時間対策の決定打として期待しています。



新潟病院は7月1日から、LINEアプリで診察順を通知するサービスを始めました。このサービスは、診察の順番が近づくときLINEアプリで登録した患者さんにメッセージが届く仕組み。長年取り組んできた外来待ち時間対策の決定打として期待しています。



中村美里



渡辺美咲

〈新潟〉なでしこ青空保育園

スルメが好きなの？

4歳児17人が7月1日、三条市栄地区の池でザリガニ釣りに挑戦しました。前日に「どうやって釣るの？」「ザリガニってスルメが好きなの？」と保育士に次々質問しながら、みんなで餌のスルメを竿

〈滋賀〉守山市民病院

吉村部長が知事表彰を受賞

滋賀県看護功労者知事表彰の授与式が5月12日に滋賀県公館で行なわれ、看護部の吉村薫部長が表彰を受けました。吉村部長はこの数年だけでも、守山市から済生会への経営移行、改修工事に伴う計6回の病棟引っ越し、コロナ対応のための病棟整備など、さまざまな場面で

リーダーシップを発揮しています。このほかにも木村真奈美副院長とともに、勤務環境改善にも意欲的に取り組んでいます。その時々に必要なことや、目の前の課題に全力で取り組んで



きたという吉村部長。

「地道な日々の積み重ねにご褒美をいただいた気持ちです。支えてくれた周りの仲間や上司、家族に感謝し、可能な限り看護の道を進み続けます」と、朗らかに答えてくれました。

〈済生記者 中嶋元香〉

〈神奈川〉横浜市東部病院

いけばな草月流有志が七夕のホスピタルアート

七夕に合わせて、1階インフ



オメーションカウンター前に竹のオブジェを展示しました。垂直に立てた真竹に、カラフルなおがら（皮を剥いだ麻の茎）を立体的に組み合わせ、プログラム用の折り紙や和紙の短冊で彩った作品です。開院時から花をいけたりアートを制作したりして院内を彩ってくれる、いけばな草月流有志「F.M.U (Flower Meet You)」のみなさんに制作してもらいました。3人の作者（柳沢君枝さん、金子直子さん、石間千賀子さん）は「笹の古典的な作品ではなく、華やかな作品に『今年こそ大事な人に会えますように』との思い



いを含めました」といいます。季節に合わせてたいけばなやアート作品で、来院者さんや職員に心地よい空間になるよう、ホスピタルアートの取り組みを進めていきます。

〈済生記者 荒木愛美〉

〈静岡〉川奈臨海学園

児童養護施設の地鎮祭

来月4月、川奈臨海学園は2施設目の地域小規模児童養護施設を長期賃貸借契約し、伊東市八幡野に開所予定です。このほどその地鎮祭が施主・東海自動車株式会社主催で行なわれ、静岡県済生会の石山純三支部長ほか10人が参加しました。地鎮祭では、同社の金野祥治



代表取締役からあいさつがあり、地域で児童養護を担うことへ期待の言葉をいただきました。当園は1施設目の地域小規模児童養護施設を2020年、伊東市内に開設。そこで生活する児童は、地域の清掃に参加するなどして住民と交流を図り、地域に支えられながら家庭的な生活を楽しんでいます。2施設目の施設も、期待される役割を果たせるよう準備を進めていきます。

〈児童指導員 栗原樹生〉

和食の肥満への有効性示唆
治田管理栄養士が学会発表

新潟病院

糖尿病患者における食品群摂取量と肥満の関連―JDDMにおける

神戸で5月に催された第65回日本糖尿病学会年次学術集会で、当院栄養科・治田麻理子管理栄養士が発表し、医療スタッフ優秀演題賞を受賞しました。

本人2型糖尿病

「神戸で5月に催された第65回日本糖尿病学会年次学術集会で、当院栄養科・治田麻理子管理栄養士が発表し、医療スタッフ優秀演題賞を受賞しました。」と述べました。

〈山口〉豊浦病院

OGの永見さんが知事表彰

令和4年度山口県健康福祉功労者知事表彰式が6月18日に山口県看護研修会館で行なわれ、当院を3月末に定年退職した永見弘子・元PFM副センター長が「健康福祉功労者（優良看護職員）表彰」を受けました。多年にわたり看護業務に従事し、県民の保健福祉の向上に顕著な功績があり模範となる人を



表彰するもので、今年度は17人が受賞しました。永見さんは「荣誉ある賞をいただき大変光栄です。改めて、看護師人生を振り返る機会となりました」と述べました。

〈山形〉特養ながまち荘

8月まで待ちきれません

利用者さん2人と7月5日、花笠づくりをしました。山形市民にとつての夏の風物詩といえば、毎年8月5〜7日の3日間で開催される花笠まつり。その日が近づき、いよいよ準備開始です。

OGの活躍は、私たち現役職員の励みと活力になります。早速、院内広報誌で永見さんの受賞を職員に知らせ、看護師長会からお祝いの花を贈りました。

〈済生記者 西田千鶴〉

さすがに菅笠を編むのは難しいので、段ボールでつくった笠に絵の具で色をつけました。「その色いいなあ」「じよんだなあ（上手だな）」と、互いに褒め合い、納得のいく出来栄えだと笑います。すると二人とも花笠を持って立ち上がり、自然に体が動いて踊り出しました！（笑）



今年はこの花笠で、みなさんと夏祭りで盛り上げたいです。

〈介護職員 佐藤郁恵〉

〈大阪〉千里病院

ポンちゃんクリアファイル

千里病院はこのほど、3月から当院のマスコットキャラクターとなった「ポンちゃん」のクリアファイルをつくりました。早速、医学生向け研修プログラムや市民公開講座などで配布し、当院の広報大使として活躍しています。

ポンちゃんは、西玄関前に鎮座するPONTA像の愛称。ニューヨーク近代美術館にも作品が収蔵される世界的彫刻家・流政之さんに依頼してつくってもらった狸の彫刻です。

建て替え前の旧府立千里救命救急センターに置いていたときには、注射器やメスなどを収めた台座に飾られ、当時の患者さんはPONTA像のお腹や丸みを帯びた手足に触れ、自身の回復を祈ったそう。

いわゆる、さわれるアート作品なので、阪急南千里駅そばにある当院へお越しの際は、ぜひ御利益のほどを確かめてみて



ださい。

〈済生記者 秋山みゆき〉

〈山形〉はやぶさ保育園

カササギ来たかな？

7月7日の七夕を前に4歳児クラスがさすの24人は天の川や七夕飾りをつくりました。エアパッキンに色を塗って星をついたり、のりを器用に使って好きな色の折り紙をつなげ輪飾りにしたり、色とりどりのかわい飾りが完成しました。そして迎えた当日、七夕の由



来を絵本で読み聞かせると、織姫と彦星の話に興味津々。続いて七夕クイズをすると、集中して話を聞いていたせいか、見事正解する子がたくさん。織姫と彦星が出会えるように、天の川に翼を広げて橋を架ける鳥・カササギの名前もちゃんと覚えてくれました。夕方になっても子どもたちから、「今日、織姫さんと彦星さん会えるといいね」「天の川見えるかな？」とすてきな会話が聞こえてきました。みんなの願い事もかなうといいね！

〈済生記者 黒田真美〉

京都済生会病院
大学生に医療経営を説く

当院は、横浜市立大学国際商学部のオンライン講義を5・6月に計4回担当し3・4年生139人が聴講しました。
講師は、宮部剛実事務部長、中川雅夫事務部次長、清水雅史診療情報管理室課長、田中護地域連携室課長と筆者。「理念達成に向けた組織運営」「医療情報システムと診療情報管理」「地域連携と病院広報」をテーマに講義しました。



〈静岡〉特養小鹿苑
体験談に学ぶ防災研修

昨年7月の熱海市伊豆山地区土砂災害の出勤事例に基づく防災研修を5月24日に実施し、当苑職員のほか静岡済生会



医療経営を担う現役病院職員の話が新鮮だったのか、講義後は毎回、驚くほど熱心な感想・質問が寄せられました。医療経営は誰が担っているのか、一般企業の経営と大差がないこと、電子カルテやIT・DX化の現状、病院広報などを具体的にイメージいただけたようです。
私たちが、日々の仕事を振り返るよい機会となりました。
〈企画広報室長 松岡志穂〉

のDWA T登録員4人が参加しました。
講師として静岡DWA T事務局員を招聘し、当時の活動内容などを聞きました。DWA T



福井県済生会病院は6月、骨軟部腫瘍・骨転移・がんロコモ外来を開設しました。骨軟部腫瘍の権威・金沢大学整形外科の土屋弘行教授と当院整形外科が連携し、骨軟部腫瘍をはじめ、年間約20万人が発症するといわれるがんの骨転移についてしっかり治療します。

土屋教授は、「がん骨転移は直ちに命に関わるものではないが、痛みや骨折などを引き起こし患者のQOLに大きく影響する。早期に適切な治療を行うことで、それまでと変わらない生活を維持しながらがん治療の幅を広げていくことが可能になる」と話しています。
当院の五之治行雄整形外科主任部長は「土屋教授の骨軟部腫

福井県済生会病院

はまず、避難者に「今何が必要なのか」のニーズ把握を実施。避難先ホテルからの通所サービスの利用再開、杖・歩行器など福祉用具の利用調整などにつなげました。また、避難生活のリズムを作るのに健康体操が有効だったと伺いました。
続いて救護担架やダンボールベッドの扱い方を学び、使い勝手を体験。「担架は思ったより怖くない」「ダンボールベッドは案外快適」と実感しました。
災害支援の体験談は大変参考になりました。災害が起こったとき、自分は何ができるのかを改めて考えさせられました。
〈済生記者 平原 聡〉

場外来では、これまで治療方針の決定に難渋していたがん患者さんの治療の質の向上を期待している。困っている患者さんへぜひ連絡を」と、新たな専門外来に期待を寄せています。
〈済生記者 吉川千恵〉

〈富山〉なでしこ保育園
みんなで海つくった！

当園の廊下の壁面に6月、3・4・5歳児のみんなで大きな海を作りました。
大きな紙に、まず3歳児27人がパステルで線を描き、次に4歳児18人が青の絵の具をダイナ



〈三重〉明和病院なでしこ
青木清先生の指導と講演会

旭川荘療育・医療センター（岡山市）の小児整形外科・青木清先生を6月23日にお招きしました。明和病院なでしこの入所者さんの個々の症例について指導いただいた後、骨折予防で講演してもらいました。

青木先生は、一人ひとり異なる関節のポジション、変形、骨折への対応や、リスク管理・移乗対応法など、職員の質問に答えながら丁寧に指導。
続いて行なった講演には、医師・看護師・介護士・リハビリ専門職・保育士・事務員など多職種50人が参加。フランス留学経験のある青木先生が「ボンジュー」とあいさつし、和やかなムードでスタート。みんなで画像

を一緒に見ながら、どこか部位にどのように注意を払うべきかを考える、全員参加型の講演スタイルで「KYT II 危険予知トレーニング」を学びました。
〈済生記者 石田真央〉



topics



が飾りました。
小児科の入院患児は早速、病室で折り紙の笹飾りを作って飾ってくれました。検査や手術、入退院などで廊下を通る患者さんは「もうすぐ七夕ですね」「本物の笹ですか」とこの時期の風物詩に笑顔で反応し、短冊に願いを書いて結びます。
七夕当日には、退院を間近に

〈山口〉下関総合病院
ほぐのんやんやんごんやん
七夕を前にした7月1日、小児科病棟に2メートルを超える大きな笹を、施設管理課の職員



宮城県済生会
乳児院・子どもクリニック
新築移転の地鎮祭
仙台市宮城野区から富谷市へ、来年度の新築移転を予定している、宮城県済生会乳児院・子どもクリニックの工事地鎮祭を、5月30日に執り行ないました。
加藤秀郎宮城県済生会支部長を

控えた患児が大好きな消防車の飾りを飾ってくれ、「ほぐのんやんやんごんやん」とうれしそうに教えてくれる場面に遭遇。
コロナ禍でも季節の催しを工夫していく大切さを感じました。
〈済生記者 下村桂子〉

〈埼玉〉川口総合病院
関東商工会議所連合会が
佐藤病院長を表彰
当院の佐藤雅彦病院長は6月23日、関東商工会議所連合会から令和3年度ベスト・アクション表彰を受けました。商工会議所活動において、地域経済の振興ならびに商工会議所の発展に多大な貢献をした会員を表彰するものです。
新型コロナウイルスが猛威を



してくれました。コロナとの戦いは今後も続きますが、引き続き職員一同、地域の皆さまと社会に貢献していけるよう、よりいっそう精進してまいります」と述べました。
〈済生記者 原 衣里奈〉

振るう中、地域医療の安定提供に貢献し、ワクチン接種も積極的に推進するなどした当院の取り組みが評価されました。
佐藤病院長は「新型コロナウイルス感染症への対応は、医師をはじめとした全職員が協力し、スピード感をもって体制を整え、対応



安心と好評 初のレディース健診
当院の健診センターあさひは月に一度、土曜健診を実施して



〈三重〉松阪総合病院
〈三重〉松阪総合病院
この日の担当スタッフ31人は全員女性。内訳は医師5人・看護師8人、視能訓練士1人、臨床工学技士1人、検査技師6人、放射線技師3人、事務7人の体制で、健診業務に臨みました。
健診内容も、総合診察はもちろん、土曜健診では初めて経鼻内視鏡や子宮がん検診、腹部エコー検査など充実したプランを

滋賀県病院
忘れられない救命体験
ラジオで医師3人が語る
当院の三木恒治院長と、救急集中治療科の越後整部長・平泉志保副部長の3人が6月21日、リモートでFM大阪のラジオ番組の収録に臨みました。
番組は、全国の医療最前線で活躍する医師に貴重な話を聞く「明日のいのちをつなぐ心あたたまる救命エピソード」。7月1・8・15日の3回にわたり放送されました。
今回は、医療現場での忘れられない体験を中心に、医師を志したきっかけや、患者さんから勇気もらったエピソードなどを紹介。各回10分の限られた放送枠でしたが、非常に内容の濃い話を伝えられました。
滋賀県湖南医療圏唯一の三次



救急医療機関として、患者さんの命に真摯に向き合う当院医師の熱い思いが、リスナーのみなさんの心に少しでも届いてほしいと思いました。
〈済生記者 西澤真由美〉

〈愛媛 西条老健いしづち苑〉
ありがとうがいっぱい

いしづち苑では、今年度「笑顔」をスローガンに掲げ、スタッフ同士のコミュニケーション・関係性・モチベーションの向上に努めています。
その一環で取り組むのが職員同士で感謝を伝える「ありがとうカード」。相手の名前にメッセージを添えて回収箱に入れ、気持ちをお届けする仕組みです。



このたび、そのカードをたくさんもらった上位8人に表彰状と記念品のクオカードを贈呈。併せて、昨年度のアルコール手指消毒使用量上位3人にも記念品を贈りました。
ありがとうカードのメッセージを見たスタッフは「心温まる言葉に感動した」「うれしい、励み

になる！」などの声が寄せられています。たくさんの「ありがとう」で笑顔あふれるいしづち苑にしていきたいです。
(済生記者 松井 築)

〈山形〉特養ながまち荘
介護のカッコよさを知って
アグスさんが写真で語る

当施設のアグス・トリヤント介護員のポートレートが、この春から県内外のCMや展示会などで公開されています。
これは介護職をモデルに、仕事の魅力や誇りを伝えようという、介護の魅力発信プロジェクト「K.A.I.G.O.P.R.I.D.E」の取り組み。厚労省が主導する



介護施設などの生産性向上に資するパイロット事業の一環で、アグスさんの輝く瞬間が写っています。
介護福祉士候補生として2015年、当施設に入職したアグスさん。「介護を通じて、人生の先輩の貴重な経験談を聞くのは本当に楽しい。介護職員の持つマインドのカッコよさをみんなに知ってほしい」という強い思いでプロジェクトへの参加を決めたといいます。
「介護」の力を拡張・強化する。掲げるこのプロジェクト、今後は取り組みを全国に拡大していくといっています。
(済生記者 高見友郁)

〈山口〉豊浦病院
102歳のバースデーを
祝う

6月の晴れた日、海を一望できる療養病棟デイルームで、最高年齢102歳の入院患者さんのお誕生日会を行いました。スタッフが手作りの花束を渡し、みんなで「おめでとうございませう」と声掛けすると、患者さんはしっかりと目を開け受け取ってくれました。

コロナ禍で面会禁止が続く中、ご家族にも元気を姿をお届けしようと記念撮影。すてきな写真が撮れたので、8月に発行する広報誌「とよさい」次号の表紙で使いたいとお願いと、「とてもうれしいです」とご本人から快諾いただきました。

コロナ禍で面会禁止が続く中、当院では日常の様子も撮影し、週一度の洗濯物受け渡しの際にご家族へ渡しています。担当スタッフが「リハビリ頑張ってます」など患者さんの近況を知らせるメッセージも添えて。入院患者さんとご家族の架け橋となる取り組みを、今後も考え実施していきます。
(看護師長 林 美代子)



〈大阪〉吹田病院
撮影のコツをつかみ撮れ

医療連携講習会を6月29日、当院東館センターホールからWeb配信しました。今回は、ラジエーションセミナーと題し、浦崎大樹診療放射線科技師がX線撮影検査の流れや撮影方法について、スライドや映像を交え技師目線で解説しました。当日は、当院の登録医をはじめ地域の看護師や放射線技師ら17人が参加。患者さんの着替えから、胸部・腹部・手・手関節・前腕骨・肘関節・上腕骨撮影のポジショニングなどを丁寧な解説しました。



【お問合せ先】大阪府済生会吹田病院 地域連携課 TEL:0120-06-1667 (直通)

「今回は上肢中心の解説だったので、次は下肢についての講習会を」と望む声もあったほか、後日、詳細内容の問い合わせ電話もいただきました。
(済生記者 橋本 茜)

〈神奈川〉若草病院
コロナで目の獅子頭

町内会の取り計らいで7月10日、近隣神社のおみこしが立ち寄ってくれました。
コロナ禍で一昨年のおみこしは中止。昨年からは人が担がず、おみこしと獅子頭をトラックに載せて地域を巡っています。
このおみこしは100年前に作られ、獅子頭はさらに古く



150年前のものだといえます。トラックの荷台がいっぱいになる大きな獅子頭。大きすぎて簡単には動かせず、いままでは神社に飾っていただけでした。そんな中、「おみこしをトラックに載せて練り歩くなら、一緒に大きな獅子頭も見せよう」ということに。コロナ禍だから日の目を見た獅子頭の迫力に、患者さんや近所の人の目はくぎ付けでした。
去年は自粛していたおはやしや木遣りも、今年は演奏者の間隔をあけて実施され、当地の夏の風物詩を盛り上げました。
(済生記者 高木裕子)

〈埼玉〉加須病院
研修医は背中で語る

栗橋病院から加須病院へ、名称も新たに新築移転して間もない6月9日、プロカメラマンによる臨床研修センターのパンフレット撮影会を実施しました。4月に入職した5人を含む、初期研修医7人（院外研修中で2人不在）が参加しました。昨年度は65人、今年は6月と



7月にそれぞれ20人近くの見学者が来るなど、初期研修先として注目を集めている当院臨床研修センター。良質な研修プログラム作りはもちろん、アットホームな雰囲気を書したパンフレットの写真も人気の理由の一つではないかと考えています。これから医療現場を背負って立つ研修医のみなさん。この写真は撮影の最後に、おそろいのスクラブを身にまとい凛とした姿を見せてくれた一枚です。

（済生記者 平間翔子）

〈新潟〉特養長和園
健康体操で転倒予防

当園が三条市から受託する「AOZORA介護予防教室」で7月13日、健康体操講座を開き受講者6人が参加しました。テーマは「転倒予防」。講師の村山兼一PTが「家の中で転びやすいところは？」と聞くと、「段差があるところより、平らなところで油断する」「畳の縁がつまずきやすい」との答え。意外なところも危険なことをみなさんご存じです。次は転倒予防体操。みなさん椅子に座ったまま、無理のない

範囲で体を動かします。深呼吸の後、掛け声に合わせて肩・腕・指・脚を動かし、最後にまた深呼吸。「人生100年時代。体操を続け元気に過ごしましょう」と村山PTが閉めました。

（済生記者 西川まゆみ）



〈三重〉明和苑デイサービス
衣装チェンジで大笑い

7月4～7日の4日間、七夕まつりを開催しました。織姫・彦星・牛（彦星は牛飼いなので）に扮した職員が登場。利用者さんとじゃんけんをしてすぐろくを進め、彦星と織姫を近づけるゲームを行ないました。止まったマスの指示に従っ

て、職員が早口言葉や全力かわいポーズに挑戦したり、利用者さんがクイズに答えたりして、和気あいあい。「衣装チェンジ」のマスに止まるたび、職員の衣装やヘアスタイルが次々変わる。利用者さんは大笑い。キラキラした表情がたくさん見られました。コロナの影響で自由にイベントができませんが「利用者さん

ももっと楽しみを！」と職員は日々知恵を絞っています。

（総務課 井坂ななせ）

兵庫県病院
シミュレーション室始動

兵庫県病院は6月1日、手術・検査の練習ができるシミュレーション室を開設しました。臨床研修医の要望を聞き、院内臨床研修委員会と臨床工学科を中心



に実現したものです。腹腔鏡下手術の練習・鉗子操作ができる硬性鏡練習セットや、腰椎・硬膜外穿刺のシミュレーター、中心静脈カテーテル挿入の練習ができるPICCシミュレーターなど多くの機器をそ

〈兵庫〉特養ふじの里
顔を合わせるの大切ですね

コロナ禍はオンラインで開催していた半年に一度のサービ担当者と会議を、万全の感染対策の下、今年6月からご家族も交えた対面形式に戻しました。「入居者本人の顔を間近に見ながら



話せるのがうれしい。実際に会うと、元気にしているのがすごくよく分かる」と、ご家族に好評です。

担当の専門職が集まり、入居者さんの課題や解決策、今後の方向性を話し合うこの会議。同じ空間でご家族に同席いただけると、信頼関係がますます深まると改めて感じました。

この日は入居者さんの誕生日と重なり、ご家族から花のプレゼントが。「ありがとう」と照れながら受け取る様子に家族の和を感じ、私たちにも笑顔が広がりました。

（西館 生活相談員 大上優介）



正面玄関ホールの男性トイレに7月、サニタリーボックスを設置しました。
泌尿器科を標榜する当院は、前立腺がんや膀胱がんで通院する患者さんも多いための配慮です。男性用トイレへのサニタリーボックス設置は、全国的にも広がっていることも導入を後押ししました。これまで尿漏れパ

サニタリーボックスを男性トイレに設置

〔北海道〕小樽病院



フが感染対策をしながら従事する姿を、いつも近くで見ているのでコロナ終息への思いは強く、星に願ったようです。
私も早くマスクを外し、利用者さんの笑顔を見ながら活動したいと願うばかりです。
(係長 中川路津由美)

ッドなどを使う男性患者さんには、だれでもトイレの利用をお願いし、大変不便をおかけしてしまいました。
導入間もなく、周知も追いついていない現状で、利用者はまだまだ多くありません。これからデジタルサイネージなどを活用し、積極的に広報していきます。今後の利用状況によっては、院内のほかの男性トイレへも設置を広げていきたいとも考えたいと思います。そしてこの取り組みが当院から小樽市内へ、広く波及してほしいと願っています。
(済生記者 松尾覚志)



ハビリの機会増加、商品に触れて食への関心を高める、自宅での家族とのコミュニケーションを増やすといったきっかけになり、利用者さんに役立つ」と考え、9月から来てもらっています。
トラックは玄関先まで来るので、歩行能力・認知能力の低下で買物を諦めていた利用者さ



買い物だってリハビリ
〔福島〕なでしこ川俣・通所リハビリテーションめぐみ

通所リハビリテーションめぐみには毎週火曜日「移動スーパー」とく「し丸」が来ます。当地域で「とくし丸」の移動販売が昨年3月に始まったのを知った筆者。「生活リハビリの機会増加、商品に触れて食への関心を高める、自宅での家族とのコミュニケーションを増やすといったきっかけになり、利用者さんに役立つ」と考え、9月から来てもらっています。
トラックは玄関先まで来るので、歩行能力・認知能力の低下で買物を諦めていた利用者さ

(理学療法士 押切貴志)



七夕まつりで自信を深める
7月7日に静岡市清水区で催

静岡医療福祉センター 成人部

された「清水七夕まつり」へ利用者さん4人と行きました。久しぶりの外出に心が弾みます。たくさん七夕飾りを眺めるうち「わーすごい」「次はあんなのも作りたいね」と歓声が。視線の先には、この4人を含む10人の利用者さんで手作りした七夕飾りがありました(後ろに写る一番右のもの)。デザインから仕上げまで、ひと月かかった労作だけに、喜びもひとしおです。
日頃の成果を施設外でも披露できたことに手応えを感じ、早くも次の作品の創作意欲を高めるみなさん。コロナ禍で密を避けるため、制作に携わった全員をお連れできなかったのが悔やまれます。来年はみんなで見に行きたいな。
(済生記者 小林慈倫)

地域で楽しくフレイル予防

〔兵庫〕特養ふじの里

この日は、楽しく体を動かすプログラムを実施し30度を超える猛暑にもかかわらず9人が参加。棒体操、体も頭も使うデュアルタスク体操、チーム対抗ゲームなどで、フレイル(加齢による心身の衰え)の予防を呼びかけました。
終了後は「楽しかったよ。また来ます」のお声をたくさんいただき大感激しました。これからも地域とのつながりを大切にしていきたいです。
(作業療法士 阪本麻由)



終息」です。当施設の利用者さんは普段、就労支援として熊本病院で清掃作業やカフェの接客販売などの仕事をしています。そのため熊本病院のスタッ



願いは「つ」コロナの終息

〔熊本〕多機能型事業所 済生会かがやき

済生会かがやきは毎月1〜2回、土曜日に余暇活動を行っています。7月2日は利用者さん20人と職員5人で四つの七夕飾りをつくりました。
短冊にしたためる利用者さんの願いはみな同じで「コロナの

テストで100点とれるかな

〈愛媛〉今治病院

今年も7月7日の七夕に合わせ、大きな笹飾りを正面玄関に設置しました。

笹はシステム管理部の職員が



毎年準備し、飾りつけは、子どもが喜ぶようにとポランティアのみなさんが工夫してくれ、「大きくてきれいな笹飾りだね」と、毎年好評です。

患者さんは短冊に、「コロナがおさまりますように」「家族全員元気に過ごせますように」「テストで100点取れますように」など、たくさんの願い事を書いてくれました。

今治市の七夕は旧暦の8月7日なので、その頃まで笹飾りを楽しまます。みなさんの願いがかないますように。

（済生記者 日野美華）

熊本病院

人間ドック事業を担う予防医療センターで6月20日、防犯訓練を実施しました。

熊本南警察署生活安全課の協力の下、利用者が精算を行なう1階受付

へ、刃物とガソリンを持った犯人が侵入した強盗事件を想定し訓練。事件発生時の初期対応や緊急時の連絡ルート、防護楯・刺股の使用方法などを再確認する機会となりました。



当院は、院内の緊急事態に即時対応する職員でCWAHT（コードホワイトアシスタントチーム）を組織しています。訓練でも、このチームがいち早く現場に駆けつけ対応しました。

サッカー高校生 炭谷理事長を訪問

本部事務局

東京都内の国学院久我山高校サッカー部の塩貝健人さんが7月25日、済生会本部を訪れ、人権問題について炭谷理事長に話を聞きました。

塩貝さんはサッカー選手として将来を嘱望されています。人権について興味を持ち、Webサイトで炭谷理事長が人権問題に詳しいことを知り、「ぜひ教

実際に110番通報も行ない、警部補から講評・指導いただくなど、熊本南警察署の協力で実践的な訓練ができ、職員の危機意識は一層高まりました。

（済生記者 東 賢剛）



えてほしい」と自らアポイントを取りました。来訪された塩貝さんは約50分にわたってレクチャーを受け、意見も交換しました。

面談後、塩貝さんは「偏見や差別の問題は誰もが自分のこととして考えることが大切だと改めて感じた」と話していました。炭谷理事長は「高校生が訪ねてくると聞き、驚きと同時に大

変うれしく思いました。塩貝さんは将来、サッカーを通じて世界の人たちと交わることになるかもしれない、今後の人生で役立つ経験になってもらえたらうれしい」とエールを送りました。

（総務課 出堀道子）

福井県済生会病院

吉村師長で5人目 特定行為を地域でも生かす

当院の吉村紀美枝師長は6月30日、日本看護協会看護研修学校で、特定行為研修の修了証を授与されました。

吉村師長が修めたのは「創傷管理関連、栄養および水分管理に係る薬剤投与関連」で、当院の特定行為研修修了者は5人目。「大変な毎日でしたが、学びの多い研修でした。まだまだ足りないこともあります。この学びを現場で生かせるよう頑張ります」と、吉村師長は1年に渡る研修を振り返り、今後の抱負を語りました。

協和枝看護部長は「地域包括ケアが推進される中で、吉村師長には地域に広がるチーム医療のキーパーソンとしての役割を期待しています。病院でも地域



の中でも活躍できるように、私たちも支援していきたい」と、お祝いと期待を述べました。

（済生記者 吉川千恵）

FA研修会に80人

〈大阪〉野江病院

第13回ファーマシューティカルフイジカルアセスメント研修会（ファーマシューティカルフイジカルアセスメント研究会・全国済生会病院薬剤師会の共催）を6月26日に当院で開催し、初の現地・Webのハイブリッド形式で計80人以上の薬剤師が聴講しました。

心不全診療のフイジカルアセスメント、薬学的介入のポイントについて、京都桂病院経営

企画室・野崎歩室長（薬剤師）、当院の循環器内科・和泉俊明部長と山崎綾子薬剤師が講演。スピーカーで症例患者の心音を流して全員で聞き、心電図・心エコーの結果などから考えられる病態や介入のポイントを学習。また、心不全の再入院を減らすための患者主体の自己管理ツール「ハートノート」の活用方法についても、和泉部長と山崎薬剤師による指導などで、すぐにでも生かせる新鮮な知識を身につけることができました。

（薬剤科 岡崎秀太）



〈山形〉 養護（盲）
老人ホーム山静寿

ようこそ山静寿カフェへ

6月17日は食堂で喫茶店行事を行ないました。コロナ禍で外出が制限される中、少しでも外出気分や喫茶店の懐かしい雰囲気味わってもらうと、職員が企画しました。



今回の目玉は、職員の手作りクレープ。イチゴなどの果物をふんだんに使ったポリニーム満点。甘いものが苦手な人には、ツナやマヨネーズの甘くないクレープも用意しました。

イベント中は食堂内におしゃれなBGMを流し、いつもと違う雰囲気も演出。飲み物のメニューも用意し、喫茶店さながらの接客で対応しました。
「クレープなんて久しぶり」初めて食べたがとてもおいしかったよ」と、喜びの声をたくさん聞きました。



いただきました。
（済生記者 丹 秀樹）

〈神奈川〉 若草病院

花がつなぐ20年来の縁

近隣の関東学院六浦小学校か



ら6月15日、すてきな花が届きました。
キリスト教精神に基づく教育を行なう同校では、児童が持ち寄った花で教会堂を飾り付けて礼拝し、その花を持って病人などを慰問する「花の日・子どもの日礼拝」行事をしています。
当院へも、20年以上前から児童が花を届けてくれますが、コロナ禍のため、この日は先生が代表で来てくれました。
以前いただいたブーゲンビリアやサンパソルが育っているのを伝えると、先生は感激され、子どもたちに紹介したいと写真撮って帰りました。
今年のお花はファレノプシス（胡蝶蘭）。早速、児童のメッセージカードと一緒に、総合カウ

〈熊本〉 みすみ病院

新入職員へ家族のメール

今春の新入職員へ7月1日、本採用の辞令交付に併せ、新社会人へのお祝いとしてご家族からの手紙を贈りました。

手紙は例年、4月の歓迎会で渡していましたが、コロナ禍でここ数年イベントを中止しており、本採用のタイミングで贈ることに。庄野弘幸院長からの辞令交付後、所属部署の先輩職員がご家族からの手紙を読み上げ、地元の名産・蘭の花と一緒にプレゼントしました。



ンターに飾りました。
（済生記者 高木裕子）

幼少期の思い出や、みすみ病院へ就職して頑張る姿を頼もしく見守っていることなど、家族の思いを聞いて涙を流す新人たち。その場にいた私たちにも感動の涙が広がりました。
（済生記者 船橋麻紀）

〈大阪〉 吹田病院

大腸がんに市民の関心高く

吹田病院は、市民講座「知っておきたい大腸がんのすべて」を6月18日、千里山コミュニティセンターで催しました。
吹田市と近隣地域の住民への



がんの正しい知識の普及・啓発が目的の講座で、参加者は38人。講師は、消化器外科・吉川卓郎科長、消化器内科・寺崎慶医師、仁田美保子薬剤師。

「ポリプががん化するまで10年と言われたが、今年90歳でも切除すべきか？」「がん術後1年半で化学療法中。再発も症状も全くないが、化学療法を続けるべきか？」参加者は疾患・治療・薬に関する幅広い質問をし、メモを取りながら熱心に話を聞いていました。
（がん診療推進グループ 井上知里）

〈広島〉 たかね荘デイサービスセンター

デイサービスで栄養講座

当デイサービスでは4月から、管理栄養士による栄養講座を始めました。
平均寿命が延びて健康寿命との差が広がり、介護が必要な期間は平均10年とも言われています。そこで自立した日常生活を一日でも長く過ごせるよう、栄養講座では「低栄養・フレイル予防」を利用者さんに呼びかけます。例えば、栄養状態や食事



内容をセルフチェックできるツールを用意し、自分の体の状態を継続管理してほしいと伝えま。講座をきっかけに利用者さんとの関係性が深まり、職員からも「勉強になる」と声掛けされ、やりがいを感じています。
次は、看護師との合同講座を計画。決まった曜日以外の利用者さんにもお話しする機会を作り、体重減少や食欲不振の利用者さんの個別栄養管理にも携わっていかうと考えています。
（管理栄養士 田中陽子）

奈良病院

3年ぶりの爽やかな汗

当院のある奈良市大安寺西地区で恒例の河川清掃が7月18日にあり、20人余りの職員が参加しました。

早朝の雨も、奈良市・仲川げ



ん市長があいさつした開会式を始めた朝8時にはやみました。ゴミの分別方法などを自治会に説明いただき、いざ作業開始。感染症対策も熱中症にも気を配りながら行ないました。

今回はコロナ禍で3年ぶりの開催。そのため河川はゴミであふれているかもと心して臨みましたが、日頃から近隣住民が片付けているのか、驚くほどの量ではありませんでした。地域をきれいにする活動で、久しぶりに爽やかな汗をかきました。

(地域福祉支援室 川向 透)

〈愛媛〉小田老健ふじの園

抱えない介護の実践報告
介護する側もされる側も楽

愛媛県・愛媛県社会福祉協議会は7月4日、愛媛県ノーリフテイニングケア普及啓発事業マネジメント研修を開催し、当施設は導入効果を報告しました。

ふじの園は、2020年度に県のノーリフテイニングモデル事業所に選定されて以来、委員会を立ち上げ、ノーリフテイニングケアの研修・実践を続けています。

当日は、ノーリフテイニングケ



アで、介護する側・される側双方の負担軽減を実感したこと、特に介護スタッフの腰痛軽減につながっていることなどを発表しました。

参加者は会場に約70人、オンラインを含め約130人規模で、関心の高さを感じました。

(介護福祉士 遊子(合陽美))

〈山口〉下関総合病院

骨髄針穿刺の研修会

下関総合病院は6月30日、骨髄針穿刺の研修会を外来治療センターで開催し、医師6人・研修医10人・救急外来看護師3人が参加しました。

(済生記者 下村桂子)



当院の昨年度の救急搬送受け入れ件数は約3400件。これらの患者さんの急変時に、静脈血管確保が困難な場合は、迅速な薬剤投与のための骨髄路確保が必要で、その際に骨髄針穿刺を行います。

全な技術が求められるため、研修では骨格モデルを使用して穿刺部位の確認や穿刺を実践。参加者はみな真剣に臨みました。質問や意見交換もしながら、知識や技術を再確認する医師・研修医・看護師の姿に頼もしさを感じました。

〈広島〉老健はまな荘

4回目ワクチン無事終了

はまな荘では7月20日から、入所者さんを対象とした4回目の新型コロナウイルス接種を開始しました。接種対象者は、73歳から103歳までの短期入所を含む41人です。

4回目ともなれば看護職員は慣れたものですが、4月に着任したばかりの隅井浩治施設長は初めてということもあり、問診に多少時間がかかりました。

接種券が届かなかった1人を除き、大きな問題もなくスムーズに接種は完了。接種後の副反応も、微熱が出た人と局所の痛みが出た人が数人いただけで済み、現場職員はほっとしていました。

(済生記者 佐藤 聡)



食で元気になりますように

〈埼玉〉川口総合病院

7月7日は行事食で、七夕の特別メニューを提供しました。ご飯、鮭のマリネ、ホウレンソウとベーコンソテー、オクラとニンジンのおひたし、フルーツゼリーと彩りも鮮やかです。

検査担当の栄養科・鈴木多喜



〈三重〉明和病院までしこ

ケーキには青空が一番?!

明和病院までしこは、公園や海など自然を満喫できる外出活動に力を入れています。

春は大淀のムーンビーチ、サンアリーナの花広場、宮りバー

度会パーク。きれいな海を眺めながら音楽を聴き、色とりどりの春の花の中を散歩し、心地よい時間を過ごしました。

るケーキはまた格別！笑顔の利用者さんを見ると、こちらまでうれしい気持ちになり、日常から離れた時間を過ごす大切さを感じます。



(児童指導員 齋田美希)

載々

済生会の職員が寄稿した記事が、掲載された雑誌等を紹介します

看護の質の改善をめざしたリンクナースの育成と支援

〈栃木〉宇都宮病院 小林看護部長
直井看護部教育担当課長（救急看護認定看護師）

「看護のチカラ」7月15日号（産労総合研究所）の特集「リンクナースで看護の質アップを図る」に、当院の小林阿由美看護部長と直井みつえ

看護部教育担当課長が寄稿した。

テーマは「看護の質改善をめざしたリンクナースの育成と支援」。当院は2007年から看護の質向上と組織活性化を目的に、専門チームと看護師をつなぐリンクナースを各部署に配置し人材育成に注力してきました。リンクナースは、院内の専門チーム・エキスパートから最新のスキル

を学び、各部署の課題を抽出・分析、スタッフへの指導・教育を行なう。

記事では、当院看護部の理念や教育体制に触れ、リンクナースの研修プログラムや評価方法、実践事例、リンクナースに対する支援について詳しく紹介。「リンクナースは、他部署との関わりや組織全体の情報へのアクセスを通じ、コミュニケーション能力や指導力、企画力、組織全体を見る力など、多くの力を養うことができる。また、院外研修の受講や認定看護師の道を進むきっかけとな



る等、各個人のキャリア開発にもつながる」と述べている。

（済生記者 川原彩花）

大雑報

身の回りで起きた、さまざまなことを楽しく報告するコーナーです。職場の話でも、家庭の話でも、休日の話でも。ご報告ください

字は体を表す！（34ページの余話）

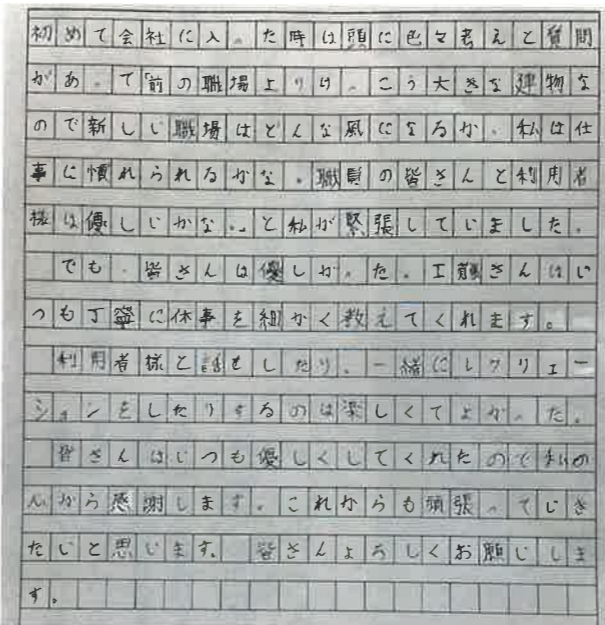
みなみがた荘の介護職員・工藤富美恵さんと筆者が「仕事でがんばっ



右から森本尚俊施設長、フンさん、工藤さん

ていることを記事にして、機関誌「済生」へ投稿してみない？」とフンさんに話したところ、「ぜひ書いてみたい」と言っていたため手紙が下の写真です。ペンを正しく持ち背筋を伸ばし、一文字一文字、丁寧に書きました。

「彼は気遣いができる好青年だねえ」と、利用者さんの評判も



上々のフンさん。一緒に働く職員も、彼の仕事に対する姿勢や態度から多くの気づきを得ていると話してくれ

ました。

みなみがた荘に来てまだ2カ月ほどですが、フンさんはすでに当センターに欠かせないチームの一員です。これからもよろしくね。

（岡山済生会ライフケアセンター

済生記者 前田明子）

★「自分も字を雑に書いているなあ」と思う人、挙手！ 私もフンさんを見習います。ありがとうございます。（本部広報室 河内淳史）

30年分の感謝の木彫り

数十年來のかかりつけ患者・長門武久さん（79歳）から、松山病院と老健にぎたつ苑のキャラクター「なでしーさん」と「にぎたつこ」の木彫り作品を寄贈いただきました。

「私、こちらの病院で病気を治してもらったのが本当にうれしかったんです」と長門さん。

「初めて受診した約30年前は、歩くのもままならないほどの状態でした。宮岡院長はじめ、松山病院の先生方の治療のお陰で命を救われ、こんなに元気になりました。ですから、何か恩返しをしたいという一心で、自宅にあった松山済生会のうちわでこのキャラクターを見て、作品作りを思いつきました」と、当院と歩んできた道のりを振り返りながら話してくれました。

現在は数カ月に一度診察に来る程度で、状態は大変安定していて、趣



味の木彫り作品をたくさん創作しています。A3サイズの迫力ある作品は、病院の受付窓口にありがたく飾らせていただいています。

（愛媛・松山病院

済生記者 酒井千夏

★30年分の感謝がこめられた木彫り作品、とっても立派です。すでに、（メデイカル・リーフ 平山果奈）

ピワの収穫まつり

梅雨の合間の薄曇りの6月23日、待ちわびたピワの収穫をしました。

数カ月前から実に袋を掛け、大事に育てた中庭のピワ。重さで枝がしなり始め「鳥が先に食べてしまうのではないかと」と、内心ヒヤヒヤしながらこの日を待ちました。

幸い、鳥の被害はなく、胸躍らせて袋を開けると、3分の1ほどは成長していなかったものの、残りの袋からは立派なピワが続々。

一緒に収穫した清田はるひ所長（写真）、松永りか副所長、村田久美事務長、堀家成介副主任と、「わく！こんなにたわわに実って！」「おいしいやるか？」「売り物みたいや！」と喜びました。

全部で31個も獲れ、職員みんなでおいしくいただきました。「久しぶりで、ピワの味を思い出せない」「酸っぱい！」「野性味あふれる味ですね



……」と感想はさまざま（笑）

来年こそだれもが「おいしい！」というピワの収穫を目指します！

（兵庫・特養ふじの里 管理部

事務課 事務リーダー 猪瀬麻美）

★ピワの味、私も思い出せません（笑）。来年はおいしいピワが収穫できますように！

（メデイカル・リーフ 平山果奈）

4匹で春夏秋冬

わが家には9匹の猫がいます。（保護猫8匹と知人に託された1匹）。最初の4匹とは、2011年5月の雨の日に出会いました。

場所は当院第二駐車場、生まれたばかりで目も開いていない子猫が紙袋に入れ捨てられていたのです。「保健所へ連絡したら」と周囲に言われましたが、かわいそうで、経験がなく育てる自信はありませんでした

が、4匹とも引き取りました。

獣医にアドバイスを請うと「救命可能性は五分五分。母乳の代わりにミルクは胃までカテーテルを入れ注射器で押し与え、段ボールの中に湯を入れたペットボトルとタオルを敷いた暖かい寝床を用意、まだ排泄も自分でできずティッシュで促しました。昼間は、共働きの妻が勤務先に



連れ出し世話してくれました。

あの雨の日から11年、今年12回目の春・夏・秋・冬を迎えます。そう、これが4匹の猫の名前。一年中元気に過ごしてほしいと願いを込めました。私たち家族と、後輩の保護猫たちと楽しく過ごそうね。

（三重・松阪総合病院

用度課課長 山川 剛）

★きつと運命の出会いです！ 猫

ちゃんかわいいなあ。

(メデイカル・リーフ 平山果奈)

スカッと爽やか赤しそジュース
息子が友人から野菜などの種をもらい植えて育てていると6月号当欄に書きましたが、中でも赤しそが元気に育ち収穫できました！
赤しそは、梅干しやふりかけなど、



いろんな用途がありますが、今回は赤しそジュースづくりに初チャレンジ。正直なところ、梅干しなどはあまり好きじゃないので、果たしてこれをつくっても自分の口に合うのかなどと迷いながら煮出します。

出来上がりを早速炭酸水で割って口に含むと、さっぱりした味わいで夏の暑さに合う！ 清涼感すごい！酷暑の中で毎日飲んでいきます。すっかり虜(とら)になってしまい「夏の

飲み物といえば赤しそジュース」とオススメしたい！ 私でも簡単につくれたので、みなさんもぜひ。

(福岡・飯塚嘉穂病院)

済生記者 春口勇介

★春口さんでも上手につくれちゃう!? 全国の済生記者さんの「やってみました」記事、お待ちしています。(メデイカル・リーフ 原澤一也)

目指せ！ 追い越せ！ 伝法さん

6月号当欄に、本誌「済生」の連続掲載記録をお持ち(?)の、小樽病院の元済生記者・伝法俊和さんの記事が載っていました。

一方、私は現役の済生記者。老健はまな荘のPRと利用者・職員のモチベーションアップのため、毎月頑張つて記事を投稿しています。最初は何を書こうか、どうまとめようかと四苦八苦していましたが、



今ではスラスラ書けるように！ 最近では担当編集者からの質問もめつきり減りました。

私も伝法さんのような済生記者になれるよう、これからも日々精進していきます。

(広島・老健はまな荘)

済生記者 佐藤 聡

★済生記者の皆さん、記事をどう書いたらよいかお悩みの場合は、佐藤記者までお気軽にお問い合わせください(笑) (本部広報室 河内淳史)

「口福にっぽん」へ挑戦状!!

「口福にっぽん」でお気に入りご紹介されショックを受けた、お取り寄せマニアの事務員・元原さん(昨年8月号当欄)。「吉井さんもこれは知らないかも」と、この時期にぴったりの情報を教えてくれました。

静岡・愛知との県境に近い、長野県は下伊那郡阿南町のつるや菓子舗の「満点星」。南信州の夏の星空を金粉で表現したプルブルの水まんじゅうで、鮮やかなブルーはまるで宝石のよう。近くの喬木村産リンゴを使ったシャリシャリのリンゴジャム餡の爽やかな甘さが広がります。

でも、飯田下伊那菓子組合のホームページ「南信州お菓子めぐり」の同店の人気商品は「つるやまんじゅう」で「満点星」は見当たりません。



昨年、生産が追い付かず一時注文受付中止になるほどだったので、あえて掲載していないのかも!?

どうですか、吉井さん。元原さんはまだまだ情報を持っているようなので、続報も乞うご期待。全国の済生記者のみなさんにも、各地のおいしい情報を教えてほしいです。

(広島・はまな荘)

済生記者 佐藤 聡

★完敗です！ 幼い頃見た信濃の星空を思い出させる、すてきなお菓子ですね。 (OVO 吉井省一)

カプトムシ育成中!

しらふじ子ども園では4年前から、職員の知合いや保護者からいただいたカプトムシを毎年育てています。

4年前、初めてでっかい幼虫を見た時は腰を抜かすほど驚いた筆者も、今では腕に這い上がってくるカ

プトムシくんに話しかけられるようになりました。(幼虫も触れますよ。あ、私は女子です)。

見た目がG(例の虫)に似てるだけの、怖いからあつちやつてだのと



言われることもありすが、園児たちは喜々として、飼育カゴを壊す勢いで集まっています。

まだまだ暑い日が続くので、西日が当たる時は遮光ネットをかけて日陰を作り、エサのゼリーを多めにして水分補給もばっちり行ない、カプトムシの熱中症対策にも気をつけていきます。

(熊本・しらふじ子ども園)

事務員 岩下かすみ

★カプトにミヤマ、ノコギリ、ヒラタは長野で育った私の夏休みのアイドルでした。

(メデイカル・リーフ 原澤一也)

手作りの表札

炭谷茂理事長が6月下旬、北海道済生会が取り組む「ウエルネスタウ



広告索引

三井住友銀行
——表紙見返し[表紙2]

アクサ生命保険(株)
富国生命保険(相)
日本生命保険(相)
第一生命保険(株)
大樹生命保険(株)
明治安田生命保険(相)
——裏表紙[表紙4]

次号予告

済生 No.1119
[令和4年9月号]

済生会の不易流行論 (168) 炭谷 茂

NEWSな済生人
この人 生瀬勝久

済生会交差点

口福にっぽん (60)
焼きまんじゅう(群馬県伊勢崎市)

てづくりおもちゃ いまいみさ

ン」を視察。小樽病院みどりの里

老健はまなす

を訪問しまし

た。病院や福

祉施設の経営

の枠を超え、

まちづくり

に取り組む職

員と地域の熱

意を再認識し

たそうです。

後日、みど

りの里から利

用者さんが手作りした表札と、訪問

した際の写真が届きました。

「元気のある小樽市を!という思い

は職員も利用者も同じ。表札を見て

はそのパワーをもらっています」と

炭谷理事長は話していました。

(本部総務課 杉山菜央)

BRAHMAN/OAU Gみなさん

ありがとうございました

新型コロナウイルス感染症で医療物資が不

足し困窮した折、主に被災地支援を

行なっているNPO法人幡ヶ谷再



熊本、松山から「愛」をお届けします!

熊本済生会ほほえみ「パン工房ふわり」 熊本県熊本市南区内田町 3560-1 Tel: 096-223-3428
松山ワークステーション「なでしこ」 愛媛県松山市東山町 143 番地 Tel: 089-916-6959

焼き菓子のネット通販店「なでしこファーム」

なでしこファームは、済生会の就労継続支援事業所で作ったお菓子を販売するネット通販店。熊本・済生会ほほえみと愛媛・松山ワークステーションが outlets、済生会のホームページ上で営業中です。商品のクッキーやケーキは、障害者が街のお店に追いつき追い越せと、一生懸命つくりました。どうぞ一度、その思いも一緒に召しあがってみてください。お中元、お歳暮にも最適です。 店主敬白



◆クッキー (左上から時計回りにマープル、ゴマ、プレーン、クルミ)
♥ギフトボックス (クッキーとパウンドケーキの詰め合わせ)
◆くまドレーズ (くまの形で、手軽に食べられる大きさのマドレーズ)
◆元祖クッキー (片栗粉を使ったサクサクとした歯ごたえが人気)

済生会のトップページからアクセス!!
https://www.saiseikai.or.jp

ホームページには、他にも魅力いっぱいの商品が。工房で、お店で活躍するスタッフの様子も。ぜひご覧ください。



生大学復興再生部から支援を受けたのを覚えてますでしょうか。
2年前、知り合いの同部・木村ゆかりさんから連絡があり、岡山済生会総合病院を中心に済生会グループ全体で1万枚近い医療用マスクと2千枚の手作りガウンをいただきました。東京都済生会中央病院へのお届けの様子は、「済生」2020年12月号で紹介されました。
ガウンは、同大学長でロックバンド BRAHMAN/OAU の TOSHI-LOW さんと MAKOTO さん、KOHKI さん、そして女優・モデルのりょうさんをはじめ、同部でボランティア活動をされている青森から九州までの方々が感染と衛生面に気をつけながら作製してくださったそうです。
この支援への感謝の気持ちを表すフラッグを作り、21年12月17日に岡山市民会館で BRAHMAN のコンサートが開催された際、お贈りしました。その時、写真を撮ったのですが、うまく撮れておらず、このほど同法人の本拠



東京・幡ヶ谷を訪ね、改めて撮影させていただきました。木村ゆかりさんは個人として、今年からはウクレアへの支援にも取り組んでいらっしゃるそうです。
(岡山済生会総合病院 内科主任医長 川上万里)
★川上先生、済生会を代表してすてきなお礼をしてくださり、ありがとうございます。
(広報室 山内 敦)



済生会

明治44年2月11日、明治天皇は、時の総理大臣桂太郎を召されて「恵まれない人々のために医療救済による済生の道を広めるように」との済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜された。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日、済生会を創立した。
以来今日まで111年、社会経済情勢の変化に伴い、存続の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、本会は「施薬救済」という創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできた。
戦後、昭和26年に公的医療機関の指定、同27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人済生会となつている。

済生 [令和4年8月号]

THE NEWSLETTER of Social Welfare Organization Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

令和4年8月10日発行
通巻第1118号 (第98巻第8号)

編集兼発行人 炭谷 茂
発行所 社会福祉法人済生会
〒108-0073
東京都港区三田1-4-28
三田国際ビルディング21階
TEL: 03-3454-3311 (代)
FAX: 03-3454-5576
印刷所 株式会社白橋
東京都中央区八丁堀4-4-1
©社会福祉法人済生会

総裁 秋篠宮皇嗣殿下
会長 潮谷義子
理事長 炭谷 茂
本部 東京 支部 40都道府県
診療所 19
介護医療院 1
介護老人保健施設 29
救護施設 1
児童福祉施設 25
老人福祉施設 122
障害者福祉施設 9
看護師養成施設 7
訪問看護ステーション 63
地域包括支援センター 31
地域生活定着支援センター 5
その他 10
合計 403 (数字は令和3年度)
さらに巡回診療船「済生丸」が瀬戸内海の59島の診療活動に携わっている。
職員数は全国で約6万4000人。

済生会グループ保険のご案内

スケールメリットを活かした、
個人保険に比べて
割安な保険料で
大きな死亡保障を!!

グループ保険

[災害割増特約・子ども特約・
子ども災害割増特約付福祉団体定期保険]

(本人・配偶者・子ども対象)

診査がなく(告知のみ)
手続きが簡単なうえ、
剰余金があれば
契約者配当金が戻ります。



① 終身医療保障プラン

[手術給付特約・手術補完給付特約・
先進医療給付特約(12)・死亡保険金不担
保特約(入院保障保険(終身型 09)用)付
入院保障保険(終身型 09) 60日型]

② 総合医療あんしんプラン

[総合医療保険(団体型)]

(本人・配偶者・子ども対象)

2つの保険より、
選択できます。



第二の人生を
充実させるために
今からご準備を!!

ゆうゆうライフプラン

[拠出型企業年金保険、
医療給付金付個人定期保険]

(本人のみ対象)



済生会グループ保険は令和4年8月にご案内します。
この機会にぜひご検討ください。



※このご案内は商品の概要を説明しています。ご契約の際には、「パンフレット」「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

[グループ保険・ゆうゆうライフプラン引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社 [事務幹事会社]
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社 富国生命保険相互会社
第一生命保険株式会社 大樹生命保険株式会社
明治安田生命保険相互会社

[医療保険引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社 (終身医療保障プラン)
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社 (総合医療あんしんプラン)

法人サービスセンター

電話 0120-563-925

[受付時間 月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3はお取扱いしておりません)]

[グループ保険・ゆうゆうライフプラン・終身医療保障プラン お問合せ先]

アクサ生命保険株式会社 制度推進部

[照会先]法人ビジネス業務部

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7450

[総合医療あんしんプラン担当営業部]

日本生命保険相互会社 公務第一部

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1 電話 03(5533)5086

Form No.0D2313(9.0) AXA-A1-2202-0122/9F7 2022.02.15